

農 林 部

農政課

課長 長谷川 雅倫

事務事業評価票

事務事業名	健康生きがい市民農園事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康生きがい市民農園事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

・農作業体験を通じて、農業に対する理解を深め、遊休農地の活用を図るとともに、高齢者等の健康づくり及び生きがいづくりを図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

市で設置した市民農園の施設管理

- ・体験市民農園 市内19箇所(528区画)
- ・簡易オートキャンプ設備付き市民農園 内田地区1箇所(17区画)
- ・健康生きがい市民農園 市内2箇所(20区画)

< 現状に対する認識 >

利用者数はほぼ平行線をたどっており、今のところ市民農園を増やす計画はない。空き区画が発生しないよう、周知を図る。

令和2年度から1農園閉園となる。

長年、園を借りる方も多く、栽培指導会(6~10月、月1回開催)への参加者数が少なかったため、対応をどのようにするか検討する。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち	市長公約	主な取り組み
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用区画数(区)				
指標の設定理由	利用区画数が本事業の成果を示すため				
目標値	601	576	576	565	510
実績値	597	569	562	547	
達成度	99.3%	98.8%	97.6%	96.8%	-
成果指標(指標名)	栽培指導会参加者数(農園利用者数×開催回数)				
指標の設定理由	参加人数が本事業の成果を示すため				
目標値	120	120	120	114	120
実績値	40	33	37	38	
達成度	33.3%	27.5%	30.8%	33.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,416	1,478	1,526	1,179	2,260
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,416	1,478	1,526	1,179	2,260
人件費(千円)	2,194	2,277	1,935	2,280	
人工					
正規	769	0.1	2277	0.3	755
嘱託	1,425	0.5	0	1180	0.4
				0	
合計コスト +	3,610	3,755	3,461	3,459	3,884
前年度比	-	104.0%	92.2%	99.9%	-

事務事業評価票

事務事業名	農業振興地域整備計画管理
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農業振興地域整備計画管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

優良な農地を農用地区域として積極的に確保・保全し、本市の農業振興を図るもの。経済事情の変動等で生じる優良農地への開発計画（農振除外申出）等に対し、営農環境の保全等に留意した適切な土地利用を図りながら、おおむね5年毎に農業振興を趣旨とした全市的な土地利用等の見直しを実施し、農振計画を適正な管理を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標（実績値） >

農業振興地域整備計画の変更、見直し等の調査、協議等を年2回実施した。

1 第1回農業振興地域整備計画変更
 申出受付期間 平成31年4月8日から4月22日
 受付件数・筆数 7件7筆
 (除外4件、軽微変更2件、申出者変更・目的変更1件)
 現地調査 令和元年5月20日
 松本市農振協議会 令和元年8月2日
 軽微変更公告・面積 令和元年8月29日 684.00㎡
 重要変更公告・面積 令和2年4月2日 936.65㎡

2 第2回農業振興地域整備計画変更
 申出受付期間 令和元年10月1日から10月15日
 受付件数・筆数 8件11筆
 (除外7件、取り下げ1件)
 現地調査 11月1日
 松本市農振協議会 令和2年1月31日
 重要変更公告・面積 令和2年8月下旬を予定 面積未確定

3 総合見直し
 おおむね5年に1度実施し、農業振興施策や今後優良農地として保全する区域を明確化して、農振計画を見直すもの。
 令和元年度での事業は無く、当該予算無。

< 現状に対する認識 >

農業振興地域整備計画の管理により、優良農地を適正に保全することが、農業生産基盤や、効率的な農業経営の維持に必要であり、農業振興と農地開発計画との調整は、利害関係を含むことから、行政による公平な視点が必要であるという視点に立ち、今後とも、地区の農業従事者、町会関係者、農業委員会等から意見をいただきながら、計画の適正な管理を進める。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がたくま
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	農振農用地面積(ha)				
指標の設定理由	優良農地の適切な保全状況を把握することができるため				
目標値	7,525	7,522	7,521	7,520	7,519
実績値	7,525	7,525	7,524	7,524	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	616	302	409	402	600
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	616	302	409	402	600
人件費(千円)	15,923	15,793	15,785	15,900	
正規	13,073	12,903	12,835	12,920	
嘱託	2,850	2,890	2,950	2,980	
合計コスト +	16,539	16,095	16,194	16,302	600
前年度比	-	97.3%	100.6%	100.7%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	多目的研修センター管理
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	多目的研修センター管理

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

施設利用時の快適性向上に寄与し、農業及び農村の健全な発展を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

新村多目的研修センター
1 光熱水費等の施設管理費の支払い
2 施設の清掃及び運営管理委託

< 現状に対する認識 >

昭和59年度に建築されてから30年以上が経過し、施設の老朽化が進み維持管理費が増大している。地元住民は隣の新村公民館を利用しており、今後、本当に必要な施設かどうか検討していく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	新村多目的研修センターの利用者数				
指標の設定理由	利用者数が本事業の成果を示すため				
目標値	7,000	7,000	5,000	3,000	3,000
実績値	5,675	4,683	3,212	1,941	
達成度	81.1%	66.9%	64.2%	64.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	488		440		446		531		490	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	488		440		446		531		490	
人件費(千円)	1,054	人工	1,054	人工	1,050	人工	1,058	人工		人工
正規	769	0.1	769	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	285	0.1	285	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	1,542		1,494		1,496		1,589		1,544	
前年度比	-		96.9%		100.1%		106.2%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	中山間地域等直接支払推進事業費

< 事業の狙い > 事業計画年度 27~

中山間地域等における農業活動の維持と通じ、耕作放棄地発生を防止、多面的機能を確保するとともに、平地地域との農業生産条件の均整を直接的に補正するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 中山間地域直接支払交付金(旧市及び四賀)

実施内容

ア 対象地域 8法地域及び特認地域

イ 対象農用地 対象地域内における1ha以上の一団の農用地で一定基準以上の傾斜要件を満たす農用地。

ウ 交付要件 集落協定の締結したうえ、5年以上継続して農業生産活動を実施する集落において、活動レベルに応じた単価により交付金を交付する。

取組実績

地区	集落数	取組面積
本郷地区	8集落	178,944㎡
中山地区	19集落	820,382㎡
内田地区	1集落	348,132㎡
四賀地区	16集落	693,669㎡

< 現状に対する認識 >

各集落内の条件不利な農用地も耕作・維持管理がされており、耕作放棄地の発生が防止されているといえる。
また、水路や法面、農道なども協定に基づく集落活動により定期的に管理されており、中山間の多面的機能が確保されている。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	中山間地域等直接支払交付金による実施面積(ha)				
指標の設定理由	集落の農地の維持を把握することができるため				
目標値	199	242	242	242	242
実績値	204	204	204	204	
達成度	102.5%	84.3%	84.3%	84.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	35,004	34,990	34,990	35,005	41,780					
国・県	25,037	25,026	25,026	25,036						
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,967	9,964	9,964	9,964						
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	35,773	35,749	35,745	35,765	41,780					
前年度比	-	99.9%	100.0%	100.1%	-					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	四賀地区農業振興関連施設管理
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀地区農業振興関連施設管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

働く場所を提供し、農家の就業機会の確保により地域の活性化を図る。また、農業者等の交流及び福祉の増進を図るための施設の維持管理を行うもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 消防団分団詰所の移転に伴い、中川農業生活改善施設の利用を、令和2年9月までとして、当該詰所と同時に解体する計画としている。

<現状に対する認識>

補助金等適正化法の期限が切れた施設から、払下げ等を行っていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設の通年利用者の確保				
指標の設定理由	地域の活性化への取り組みは施設の利用により図られるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%	100%	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	692		912		4,382		1,283		870	
国・県										
利用者負担金	692		912		1,512		1,283		870	
その他										
一般財源					2,870					
人件費(千円)	285	人工	289	人工	295	人工	298	人工		人工
正規	0	0	0	0	0	0	0	0		
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	977		1,201		4,677		1,581		1,155	
前年度比	-		122.9%		389.4%		33.8%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農業振興関係機関と連携して取り組むもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 農業技術者連絡協議会 50千円
農業技術等を普及指導する関係機関、団体が一体となり、管内農業等の発展に寄与するため、相互に意見交換を行い、統一した技術指導にあたる。
連絡協議会総会を年1回開催し関連する取組み等を協議する
環境対策・有害鳥獣の啓発チラシを作成し農家に配布 18,300部
災害による被害調査(凍霜害、強風災害等)
- 2 農業開発センター 84千円
- 3 長野県農産物等輸出事業者協議会 40千円
- 4 消費拡大事業
内容
松本市、JA松本市、JA松本ハイランドが消費拡大フェアなどへの経費を負担するもの(R元は、3年に1度の消費地懇談会を開催(中京圏))
R元実績 930千円

< 現状に対する認識 >

本市における農業振興における必要な関係機関への必要最小限の負担としている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	1,187	867	817	1,104	0					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,187	867	817	1,104						
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	8,877	8,457	8,367	8,704	0					
前年度比	-	95.3%	98.9%	104.0%	-					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	補助金
-------	-----

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農業経営者等の経営基盤を強化するため、認定農業者等の担い手に対する金融面を支援して農業振興を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 スーパーL資金(農業経営基盤強化資金)利子補給金
農業経営改善計画の認定を受けた個人又は法人で経営規模拡大や効率化を図ることを目的に日本政策金融公庫から融資を受けた者に対して借入利子の一部を補助するもの。(40件)
- 2 農業近代化資金利子補給の補助金
農業者との農業近代化に役立つ整備拡充のために融資を行った融資機関に対して助成するもの。(13件)

< 現状に対する認識 >

低金利の長期化等に伴い補給効果が低減してきたことにより、平成31年度以降の新規補給受付廃止しました。なお既存の利子補給者には、償還期間中の利子補給は継続するものです。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,172		2,323		1,755		1,967		0	
国・県	506		418		328		265			
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,666		1,905		1,427		1,702			
人件費(千円)	855	人工	855	人工	885	人工	7,600	人工		人工
正規	0	0	0	0	0	0	7600	1		
嘱託	855	0.3	855	0.3	885	0.3	0			
合計コスト +	3,027		3,178		2,640		9,567		0	
前年度比	-		105.0%		83.1%		362.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	農畜産物マーケティング推進事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農畜産物マーケティング推進事業費

< 事業の狙い > 事業計画年度 H16 ~

松本の農産物のブランド化、販路拡大等の取り組みにより、経済の健康・地域の健康につながる。地元産食材への理解を深め、地産地消を推進することによって人の健康、地域の健康、経済の健康につながる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 大消費地等での消費宣伝・トップセールス
実施回数 12回
- 農産物の高付加価値化・ブランド化
 - 松本産野菜・果物の栄養機能食品化に向けた成分分析、表示販売実証
 - 松本一本ねぎの地理的表示取得申請に向けた支援
 - 作付拡大奨励事業による伝統野菜の出荷量拡大支援
 - プロモーション用媒体の作成(ポスター)
- 地産地消食育推進事業
地産地消食育推進事業件数 17件(参加児童等延べ 11,200人)
カレンダー配布数 600部、味覚教育実施に向けてのカリキュラム、講師育成
- 地産地消推進会議・懇談会の開催
会議年2回、懇談会年1回
- 地産地消アンテナショップの多目的活用

< 現状に対する認識 >

本事業は、大きくブランド化推進と地産地消推進の2本からなり、それぞれに対応した成果指標を設定している。達成状況的には地産地消推進の部分が目標を下回っており改善が必要であるが、この指標により全体が分かるようなものではない点注意を要する。今年度は、課内調整で正規1人増となり、各事業とも一定の成果が出せるようになってきた。これを機会に、目的、手段・手法、効果といった観点から既存事業の整理を更に行ったうえで、戦略的な取り組みが必要である。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	#REF!
-----	-----	----	-----	-----	-------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総合評価	B				
成果指標(指標名)	野菜の機能性等新たなブランド販売を行う店舗数				
指標の設定理由	農畜産物のブランド化の実績を測る指標となりうるため				
目標値	0	1	2	5	10
実績値	0	5	5	7	
達成度	-	500.0%	250.0%	140.0%	-
成果指標(指標名)	地産地消推進の店登録件数				
指標の設定理由	地産地消の浸透度合いを測る指標となりうるため				
目標値	110	117	124	132	140
実績値	113	113	106	97	
達成度	102.7%	96.6%	85.5%	73.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	13,873	13,184	14,324	16,057	0
国・県			379		
利用者負担金					
その他					
一般財源	13,873	13,184	13,945	16,057	
人件費(千円)	16,321	16,625	16,575	18,538	
人工	1.9	2	2	2.4	
正規	14,611	15,180	15,100	18,240	
嘱託	1,710	1,445	1,475	298	
0.6	0.5	0.5	0.1		
合計コスト +	30,194	29,809	30,899	34,595	0
前年度比	-	98.7%	103.7%	112.0%	-

事務事業評価票

事務事業名	家族団らん手づくり料理を楽しむ日推進事業
-------	----------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	家族団らん手づくり料理を楽しむ日推進事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	1	心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
	主な取組み		市民一人ひとりの健康づくりを支援
5つの重点目標		2	次世代を育むまちづくり
	松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 事業の狙い >

事業計画年度

H18 ~

日常生活ではバラバラになりがちな食事をみんなで楽しめるよう家族団らんの機会をつくって食について考えてもらうことで、家族のもつ社会的機能の回復や食生活の改善等につなげる。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 食育月間にあわせた松本地域産農産物の市内全小学校への配付
6月上旬~11月中旬 30校 対象者約13,200人
- 2 松本市産農産物を食材として使用した「レシピ集」の作成
伝統野菜の活用 8,000部
- 3 小学校向けカレンダー印刷
1,000部配布(学級、職員室等)

< 現状に対する認識 >

成果指標に対する達成状況については、目標値を大幅に上回る結果となっており、農産物配付により家族団らんの機会が実現したと言える。日常的な家族団らん、家族で料理をつくるきっかけとなるよう取り組んだレシピ集の作成は、インターネットによる無料レシピの普及等により、手段・手法等について見直しが必要と考えるので、効果的な事業となるよう再構築を行い、状況によっては廃止も検討したい。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	児童へ配布した農産物を自宅で家族そろって食べた児童割合				
指標の設定理由	当該啓発事業の実践度を測る指標となるため				
目標値	66%	67%	68%	69%	70%
実績値	86.80%	90.20%	89.60%	89.50%	
達成度	131.5%	134.6%	131.8%	129.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	2,443	2,241	2,326	2,368	0					
国・県			141							
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,443	2,241	2,185	2,368						
人件費(千円)	2,307	人工	1,445	人工	1,558	人工	2,332	人工		人工
正規	2,307	0.3	0	0	378	0.05	1,140	0.15		
嘱託	0		1,445	0.5	1,180	0.4	1,192	0.4		
合計コスト +	4,750	3,686	3,884	4,700	0					
前年度比	-	77.6%	105.4%	121.0%	-					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	6次産業化支援事業
-------	-----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み			松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	3		経済の好循環の創出
			松本版総合戦略			松本産品のブランド化

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	6次産業化支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 H25 ~

農産物の付加価値を高めるために、生産・加工・販売を一体で取り組む6次産業化を総合的に支援し、産業力の向上や地域の活性化につなげる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 6次産業化に係る経費の補助 内容 人材育成、商品開発、販路開拓、施設整備等の利子補給 実績 販路開拓 1件、商品開発 1件(他1件は取下げ) (決定に際し、審査会を1回開催)
--

<現状に対する認識>

1 商品開発1件は、松本ものづくり産業支援センターのコーディネーターとの連携によるもの。販路開拓1件は、審査会委員経由のもので、徐々にではあるが連携・ネットワークの効果が出ている。しかしながら、日常的な審査会委員のネットワーク活用等ができていない。
2 事務分掌の問題もあり、申請を待つというかたちで、シーズマッチング等ができていない。次年度から開催する実践セミナーや異業種間の接点づくり等により更なる活性化が必要

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	地域農産物による新たな商品開発件数(累計)				
指標の設定理由	6次産業化の直接的な成果品の件数を測定できるため				
目標値	8	10	12	14	15
実績値	7	9	9	10	
達成度	87.5%	90.0%	75.0%	71.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	15		1,547		199		245		0	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	15		1,547		199		245			
人件費(千円)	1,054	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,140	人工		人工
正規	769	0.1	1,518	0.2	1,510	0.2	1,140	0.15		
嘱託	285	0.1	0		0		0			
合計コスト +	1,069		3,065		1,709		1,385		0	
前年度比	-		286.7%		55.8%		81.0%		-	

事務事業評価票

事務事業名	農林漁業体験実習館管理
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農林漁業体験実習館管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

利と農村の交流を通じ、農業及び農村の健全な発展を図り、地域文化の伝承に寄与する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 光熱水費等の施設維持費の支払い
- 2 施設及び公衆便所の清掃等委託

< 現状に対する認識 >

施設設置当時の方針により地元の陶芸や太鼓練習に利用されており、新たな利用者獲得が難しい状況。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	農林漁業体験実習館の利用件数				
指標の設定理由	利用件数が本事業の成果を示すため				
目標値	250	250	250	250	250
実績値	148	138	163	160	
達成度	59.2%	55.2%	65.2%	64.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	955		929		943		930		960	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	955		929		943		930		960	
人件費(千円)	1,054	人工	1,054	人工	1,050	人工	1,058	人工		人工
正規	769	0.1	769	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	285	0.1	285	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	2,009		1,983		1,993		1,988		2,014	
前年度比	-		98.7%		100.5%		99.7%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	クラインガルテン関連施設管理
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	クラインガルテン関連施設管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

クラインガルテンを利用する都市の住民と四賀地区の住民との交流による地域の活性化及び美しい景観と環境を活かした魅力ある地域を創造する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 坊主山クラインガルテン52区画、緑ヶ丘クラインガルテン78区画の公募による利用率100%が、毎年達成できる管理業務の推進
- 施設利用者と地域住民の交流事業
 - 魅力ある各種イベントの開催 16回
- 施設の老朽化に伴う改修工事を、毎年度計画的に施工
 - 坊主山クラインガルテン
 - 屋根、外壁塗装、デッキ改修1棟 3棟
- 利用者の要望への対応
 - 坊主山クラインガルテン 生垣枯木撤去及び新植
 - 緑ヶ丘クラインガルテン敷地内支障木伐採

< 現状に対する認識 >

全国で60カ所以上のクラインガルテンが整備されており、開園当時に比べ注目度は低下しているため、引続き目標達成を継続するためには、施設整備の他、独自の取り組みのPR活動に努めることが必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	クラインガルテンの利用率				
指標の設定理由	施設の利用者と地域住民との交流により地域の活性化が図れるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	99.23%	100%	100%	
達成度	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	66,544		71,072		68,952		69,982		70,510	
国・県										
利用者負担金	45,513		44,188		43,782		45,198		42,613	
その他	21,031		26,884		25,126		24,784		27,897	
一般財源										
人件費(千円)	1,339	人工	1,337	人工	1,345	人工	1,356	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	570	0.2	578	0.2	590	0.2	596	0.2		
合計コスト +	67,883		72,409		70,297		71,338		70,510	
前年度比	-		106.7%		97.1%		101.5%		-	

事務事業評価票

事務事業名	農村広場管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農村広場管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農業者等の体力づくり、コミュニティーづくり及び農業振興を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 事業目的
農政課で設置した農村広場等の施設管理及び修繕を行うもの
- 事業箇所
農村広場(新村、神林、稲倉ふれあい広場、穴沢運動公園)
農村公園(田溝池農村公園、芥子坊主農村公園)
公衆便所(檜沢温泉、新村農村広場、田溝池農村公園)

< 現状に対する認識 >

平日、冬期間の利用率が低い。また雨や雪が降った際、使用できない期間が発生し利用者に不便を強いている。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	21,011		23,014		18,971		5,626		5,780	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	21,011		23,014		18,971		5,626		5,780	
人件費(千円)	1,054	人工	1,054	人工	1,050	人工	1,058	人工		人工
正規	769	0.1	769	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	285	0.1	285	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	22,065		24,068		20,021		6,684		6,834	
前年度比	-		109.1%		83.2%		33.4%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農業者育成事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		新しい働き方・雇用の創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

新規就農者等の育成により農業に担い手を確保するとともに、営農機械購入等への支援を行うことで、安定的かつ効率的に本市の営農活動が行われるよう支援する。
認定農業者への農地の利用集積を推進するため、規模拡大を行う認定農業者に対して、農業機械等の取得費用を補助するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

新規就農者関係事業:主なもの
新規就農者育成対策事業
ア 新規就農希望者を研修生として採用し、営農技術研修や就農支援を行う。事業主体であるJA松本ハイランドへの事業費負担をする。(令和元年度実績:研修生8名)
イ 首都圏等で開催される就農相談会に参加。内1~2回は本市でのUIターン就農者と一緒に相談を受ける。(令和元年度実績:4回)
新規就農者支援事業
新規就農に必要な初期投資(農業機械等)の負担を軽減することにより、新規就農者の定着促進を図る。(令和元年度実績:3件)
認定農業者関係事業:主なもの
未来を担う農業経営者支援事業
農業経営改善計画の目標達成を支援するため、計画に位置付けられた農業機械等を取得する場合、取得費用の一部を補助するもの(令和元年度実績:21件)

ほか、地域営農リーダー育成塾など

<現状に対する認識>

新規就農者への支援
相談者に対し、研修の前段となる農業体験や圃場見学等の一貫した体制づくりが課題であるため、地域と連携して受入れ体制を整備していく。
認定農業者への支援
本市の認定農業者の増加等に伴い事業要望が増加している。農業振興を図るため、実施の必要性に応じて迅速に対応したい。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	新規就農者育成対策事業研修生(累計)				
指標の設定理由	事業による新規就農者数を把握することができる				
目標値	41	43	46	49	52
実績値	41	43	46	48	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	98.0%	-
成果指標(指標名)	認定農業者数(件)				
指標の設定理由	経営意欲のある中核的な農業経営者数を把握することができる				
目標値	510	515	520	525	530
実績値	491	511	522	533	
達成度	96.3%	99.2%	100.4%	101.5%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	46,348		55,625		57,829		49,442		60,030	
国・県	31,037		30,796		29,028		24,796		29,250	
利用者負担金										
その他							60		60	
一般財源	15,311		24,829		28,801		24,586		30,720	
人件費(千円)	14,611	人工	18,216	人工	18,120	人工	18,240	人工		人工
正規	14,611	1.9	18,216	2.4	18,120	2.4	18,240	2.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	60,959		73,841		75,949		67,682		60,030	
前年度比	-		121.1%		102.9%		89.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	農村女性活動推進事業
-------	------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農村女性活動推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

農村女性の社会的地位向上と豊かな家庭、農村地域づくりを目的に、女性農業者の育成、生活環境の整備、各種学習活動等の事業推進を行い、農村女性自らの社会参画意識向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 女性活動促進推進会議の開催「まつもと農村地域虹の橋プラン」策定、実践
- 2 各地区、マイスター協会での事業推進
- 3 農村女性冬期講座、農業者講座
- 4 家族経営協定の推進
- 5 遊休荒廃農地へ景観用の花の植栽

< 現状に対する認識 >

まつもと農村女性協議会(会員約250名)と、平成28年度に発足した女性農業者団体(会員27名)により、両者連携を図りながら事業推進に努める。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み			農業を支える女性や担い手への感謝と支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略			

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	女性認定農業者がいる農業経営体数(件)				
指標の設定理由	女性農業者が中心的な役割を担っている状況が把握できるため				
目標値	37	42	47	52	57
実績値	31	46	55	66	
達成度	83.8%	109.5%	117.0%	126.9%	-
成果指標(指標名)	家族経営協定締結数(組)				
指標の設定理由	女性等の農業経営への参画状況が把握できるため				
目標値	205	210	215	220	225
実績値	207	212	223	230	
達成度	101.0%	101.0%	103.7%	104.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,782	1,969	1,749	1,850	1,850
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,782	1,969	1,749	1,850	1,850
人件費(千円)	3,845	3,795	3,775	3,800	
正規	3,845	3,795	3,775	3,800	
嘱託	0	0	0	0	
人工	0.5	0.5	0.5	0.5	
合計コスト +	5,627	5,764	5,524	5,650	1,850
前年度比	-	102.4%	95.8%	102.3%	-

事務事業評価票

事務事業名	農用地高度利用流動化事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農用地高度利用流動化事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

農用地利用権の集積を通じて、農業の中核的担い手の育成・確保と農用地の有効活用を図り、もって農地保有の合理化や、地域農業の振興及び農業構造の改善に資することを目的とする。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 人・農地プラン作成事業
地域の話し合いと合意に基づき、地域農業のプランを作成する。
- 農地中間管理事業
農地中間管理機構の委託を受け、窓口業務を行う。
- 機構集積協力金交付事業
地域集積協力金:貸付面積に応じて地域に対して交付
H30実績 2,330,108円
経営転換協力金:離農や経営転換等で農地を貸し付けた出し手へ交付
H30実績 5,639,440円
耕作者集積協力金:農地に連担している農地を貸し付けた出し手等へ交付
H30実績 823,500円
- 土地利用型経営規模拡大奨励金交付事業
1年以上の利用権を設定した認定農業者へ補助金を交付(3,000円/10a)
R1実績 57,420,210円
- 認定農業者への集積率
R1実績 50.4%
= 2,433ha / 4,822ha
「認定農業者の耕作面積: R2.3.31時点」に「経営耕地面積: H27農業センサス」を除いたもの

< 現状に対する認識 >

・農地の集積を進めるうえで有効な施策であることに止まらず、全国的に広がっている農業の担い手や後継者不足の解消に向けた重要な施策であると考え。
・機構集積協力金交付事業は、数年ごとに制度の見直し・変更が行われてきているため、今後も国の動向に留意しながら、事業の周知とさらなる担い手への農地の集約化を図っていく。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
			松本版総合戦略		松本産品のブランド化

< 指標の達成状況 >

	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
成果指標(指標名)	認定農業者への集積率					
指標の設定理由	農業の中核的担い手の育成・確保の状況を顕著に表わす指標であるため					
目標値	52.9	53.5	54.1	54.7	55.4	
実績値	37.2	48.7	50.0	50.4		
達成度	70.3%	91.0%	92.4%	92.1%	-	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	64,572	69,100	65,536	61,880	60,970
国・県	12,804	14,322	8,804	4,360	9,210
利用者負担金					
その他	117	108	132	100	250
一般財源	51,651	54,670	56,600	57,420	51,510
人件費(千円)	10,540	10,480	10,500	10,580	
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	2,850	2,890	2,950	2,980	
人工	1	1	1	1	
合計コスト +	75,112	79,580	76,036	72,460	60,970
前年度比	-	105.9%	95.5%	95.3%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農業労働力補完支援事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農業労働力補完支援事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

松本市の農業の労働力補完と市民の農業への関心を高めるため。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市アグリサポート推進事業
 ・アグリサポート推進協議会事務局が役割分担をし、農作業労働力補完を行う。
 ・農繁期のりんごの作業について、市民が農家の作業支援を行う。
 春季6日間(摘果作業) 秋季6日間(葉摘み、玉回し作業)

< 現状に対する認識 >

利用者(農家)からの要望は多いが、支援者数が大幅に足りないため、事業の周知をさらに徹底して行う必要がある。また、周知対象者を具体的に絞っていく必要もある。
 農家からの要望は増加傾向にあり、更なる労働力の確保が必要となる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	充足率(協力人数/支援希望人数)				
指標の設定理由	充足率が本事業の成果を示すため				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	85	80	71	77.1	
達成度	85.0%	80.0%	71.0%	77.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	173		181		167		93		160	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	173		181		167		93		160	
人件費(千円)	2,194	人工	2,277	人工	1,935	人工	2,280	人工	2,307	人工
正規	769	0.1	2,277	0.3	755	0.1	2,280	0.3	2,307	0.3
嘱託	1,425	0.5	0	0	1,180	0.4	0	0	0	
合計コスト +	2,367		2,458		2,102		2,373		2,467	
前年度比	-		103.8%		85.5%		112.9%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	遊休荒廃農地対策事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	遊休荒廃農地対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17～H32

- 1 遊休荒廃農地対策事業補助金
国の補助対象(農業振興地域内の農用地区域等(青地))以外の耕作放棄地の解消作業を行い、農地として再活用する者に対し補助金を交付するもの
- 2 農業生産振興事業補助金
国補助事業により再生作業を行うものに対し、補助を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 遊休荒廃農地対策事業補助金
耕作放棄地解消のために行う草木の伐採及び抜根、耕運、土壌改良剤の投与等の再生作業に要する経費に対し、3,500円/a～7,000円/aの範囲で補助を行うもの
- 2 農業生産振興事業補助金
国補助事業経費の1/10を上乗せ補助するもの

< 現状に対する認識 >

平成30年度において国事業のリニューアル、令和元年度より国事業廃止にともない、今後市事業の実施が増加する事が予想される。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	荒廃農地解消面積(ha)				
指標の設定理由	荒廃農地が解消され農地の有効利用が促進されるため				
目標値	10	10	10	10	10
実績値	66	10	11	11	
達成度	660.0%	100.0%	110.0%	110.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	798		273		182		1,520		1,180	
国・県	665									
利用者負担金										
その他										
一般財源	133		273		182		1,520		1,180	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	1,567		1,032		937		2,280		1,180	
前年度比	-		65.9%		90.8%		243.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	環境保全型農業推進事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保全型農業推進事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

平成16年度～

有効な農地風食防止対策を関係機関との連携強化を図り、統一かつ広域に推進、実施し、風食被害の防止を図る。
関係機関と連携を図り、有効な農地風食防止策を統一かつ広域的に推進して行く。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本平の南西部地域で春先に発生する砂塵問題は地域住民の生活環境に及ぼす影響が大きいことから、本市他関係市村及び関係機関が「松本南西部地域農地風食害対策協議会」を設立し砂塵問題に取り組んでいる。

連絡会を開催し関連する取組等に関する協議を実施
また、研修会を開催し、講師を招き勉強会等を開催

1 活動内容

麦作付け誘導対策

現在まで確立された技術の中で、最も有効な風食防止対策である麦の作付け誘導を進める。事業計画の作成は協議会で行う。

啓発対策

各市村・JAにおいて広報・Eメール等での啓発及び情報提供を実施し、播種、耕起などによる発生防止対策を促す。

< 現状に対する認識 >

「生産者の財産である土壌を守り、生活者に迷惑をかけない野菜産地を築く」をキーワードに、関係機関が連携を強化し、広域的に対策を講じることで、被害の防止を図る。

風食防止を推進するには、農家自身の取組み意識を変えていくことが重要となるが、風食発生時期は、作物の作付準備等と重なるほ場もあるため、今後も啓発活動等に努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	200		200		200		200		200	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	200		200		200		200		200	
人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工	1,520	人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,738		1,718		1,710		1,720		200	
前年度比	-		98.8%		99.5%		100.6%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業
-------	------------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業費

< 事業の狙い >	事業計画年度	~
国の政策として、転作等をする稲作農家の経営安定と農産物の生産力確保等、水田農業全体の所得向上等を図り、食料自給率の向上と農村が保有する多面的機能の維持を進めるため行なうもの。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

経営所得安定対策直接支払推進事業費 県からコメの生産数量目安値の提示を受け、各地区の農業再生協議会と連絡調整し、米の適正生産を図り米価の安定につなげるため、経営所得安定対策の申請事務を行う。 そのため、毎年各地区再生協議会に米の作付け提示面積を示し、需要に合った生産を行っている。 また、JA、営農組合等の農業団体、個人事業者は、戦略作物(麦、大豆、そば等)を生産することにより、国の経営安定対策交付金を活用している。 農家より、その年の営農計画書(約8,663件)を提出してもらい、そのデータを入力し、主食用米の適正生産数量の把握に努めている。 営農計画書との整合性を図るため、経営所得安定対策交付金申請要件として対象作物の現地確認を実施しデータ入力 経営所得安定対策交付金申請書の配布、回収整理取りまとめを行い国へ申請

< 現状に対する認識 >

・国の方針である主食用米の需要に合った適正生産の推進が重要と認識 ・農業者が必要に見合った主食用米の適正生産に取り組むことを継続 ・地域の特性に応じた水田農業を推進するとともに、水田農家の所得向上を図るため、収益性の高い園芸品目等の導入による経営の複合化、松本産米の高品質化、スマート農業技術の導入による農作業の効率化や生産コストの削減に取り組む

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	経営所得安定対策の申請件数				
指標の設定理由	国の政策による稲作農家の経営安定に向けた状況が把握できるため				
目標値	2,441	2,318	1,000	1,000	1,000
実績値	2,418	2,387	1011	929	
達成度	99.1%	103.0%	101.1%	92.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	35,147	36,670	32,155	32,281	34,530
国・県	24,818	26,222	22,213	22,395	26,830
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,329	10,448	9,942	9,886	7,700
人件費(千円)	18,230	18,070	18,050	18,180	
人工	2	2	2	2	
正規	15,380	15,180	15,100	15,200	
嘱託	2,850	2,890	2,950	2,980	
合計コスト +	53,377	54,740	50,205	50,461	34,530
前年度比	-	102.6%	91.7%	100.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	環境保全型農業直接支払事業
-------	---------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保全型農業直接支払事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >	事業計画年度	平成23年度～
農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業 農業生産活動を通じて、地球温暖化防止、生物多様性の確保、水質保全対策の推進をする。		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

有機農業者や緑肥を作付するなど環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者団体を直接支援するもの。(国・県との一体的事業) 環境保全型農業直接支払事業費 1 対象者 販売を目的に生産し、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者団体等 2 対象取組 化学肥料・化学合成農薬の使用低減と組み合わせて行うカバークロープ堆肥の施用や有機農業等 3 支援単価 最高12,000円/10a(取組内容により異なる) 4 補助率 国1/2 県1/4 市1/4 推進事務費 農業者等に対する説明会の開催及び助言・指導や、交付金の対象となる取組の実施状況等の確認等に係る事務費補助(定額交付 補助率10/10)

< 現状に対する認識 >

有機農業事業への新規取組者が少なく、取組者団体数がなかなか増えないため、面的にも広がらない。 有機農業に関心を持つ農業者には、GAPの研修、有機農法の研修会などを紹介し、合わせて有機農業者既存の団体、及び取組者等を紹介できる体制を整えている。
--

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	エコファーマー認定者数(累計)				
指標の設定理由	環境にやさしい農業に取り組む農業者の認定数(県認定)				
目標値	340	345	350	355	360
実績値	340	351	357	362	
達成度	100.0%	101.7%	102.0%	102.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	1,576	1,730	1,430	1,935	2,770
国・県	1,158	1,263	1,087	1,463	2,080
利用者負担金					
その他					
一般財源	418	467	343	472	690
人件費(千円)	3,845	3,795	3,775	3,800	
正規	3,845	3,795	3,775	3,800	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	5,421	5,525	5,205	5,735	2,770
前年度比	-	101.9%	94.2%	110.2%	-

事務事業評価票

事務事業名	農産物生産振興対策事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農産物生産振興対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

～

有害鳥獣による農作物被害に対し、獣害被害防護柵の設置及び維持管理、協議会活動への負担を通して営農意欲の減退や耕作放棄地の増加などを阻止し、農家の経営安定を図る

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 獣害防護柵維持管理
市が資材を提供し、地元が労力を提供する協働方式により防護柵の維持管理を行うもの。また、自然災害などによる設置した防護柵の破損に対し、資材の提供を行う。倒木による防護柵の破損については補修作業に必要な支障木撤去について委託契約を結び負担を軽減する。成果指標は獣類による農作物被害金額による。
- 2 松本広域鳥獣被害防止総合対策協議会
中信地区の市村などで構成される協議会の運営・活動に対し負担を行い捕獲用資材の購入や緩衝帯整備などの鳥獣害対策を支援するもの。事務経費の出資割負担金であるため、指標となるものはない。

< 現状に対する認識 >

昨年に比べ梓川地区等での「サル」による被害が増え、被害額が増えている。一方で、松枯れや台風・大雪など自然災害による防護柵の破損が発生すると、そこから野生鳥獣が侵入するため、被害の増加につながる。防護柵の健全な状態を維持していくため、今後も破損の際には維持管理に必要な修繕等の材料を提供していく。また、有害鳥獣対策は捕獲に力を入れ、防除と組み合わせた被害軽減を目指す。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み		農業を支える女性や担い手への感謝と支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		松本製品のブランド化

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	獣類による農作物被害金額(千円)				
指標の設定理由	防護柵設置による効果が把握できるため				
目標値	17,114	16,771	16,435	16,106	15,744
実績値	17,946	18,447	17,024	18,914	
達成度	104.9%	110.0%	103.6%	117.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	69,085	3,583	37,133	3,193	1,530	
国・県	48,941		34,410			
利用者負担金						
その他	5,900					
一般財源	14,244	3,583	2,723	3,193	1,530	
人件費(千円)	23,070	人工	22,770	人工	22,650	人工
正規	23,070	3	22,770	3	22,650	3
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	92,155	26,353	59,783	25,993	1,530	
前年度比	-	28.6%	226.9%	43.5%	-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	そ采花き振興
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	そ采花き振興費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農畜産物生産出荷安定対策事業
本市の重要な生産品目である花きや野菜の経営安定対策のため、野菜の計画的な供給と、その価格安定を目的とする資金造成を補助することで、農家の経営安定を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

農畜産物生産出荷安定対策事業
花きや野菜については、価格変動による農家経営への影響を極力排除するため、基準価格を下回った場合に農家へ補てん金を支払う生産安定基金への農家加入掛金の一部を補助して支援する。

農家・JA・行政で1/3ずつ負担

令和元年度実績

品目

・野菜、きのこ 2,004,264(ケース、束)

・花き 2,049,939本

補助金額

3,293,669円

< 現状に対する認識 >

昨今、野菜の消費量の減少、輸入農産物の増加、競合産地の台頭等による価格の低迷、作付面積や従事者の減少及び高齢化、法人化等の生産規模拡大に伴う雇用増加に対する労働力不足、加工・業務用需要の大幅な増加など生産環境や消費・流通構造が大きく変わってきており、従来からの生産振興の見直しを迫られる大きな変革の時期を迎えています。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	119,927		165,541		18,508		3,293		3,370	
国・県	117,563		161,848		14,478					
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,364		3,693		4,030		3,293		3,370	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	3,800	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	3800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	127,617		173,131		26,058		7,093		3,370	
前年度比	-		135.7%		15.1%		27.2%		-	

事務事業評価票

事務事業名	果樹振興
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	果樹振興費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

平成23年度～

- りんご産地再生モデル事業
生産者の高齢化により生産性の減少や品質の低下が見られるりんご生産の維持拡大を図るため、省力化や品質向上が可能な新しい化栽培の導入を推進する。
- 果樹共済加入促進対策事業
果樹共済の加入促進を図り、果樹農家の経営の安定をはかり災害に強い果樹農家の育成を図る。
- 集出荷施設整備事業
集出荷施設の整備に要する経費を補助することにより、農業の振興を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- りんご産地再生モデル事業
農家の高齢化による担い手不足等により生産量の減少が課題となる中、作業効率や生産性の向上を目指す新たな栽培方法である「新しい化栽培」を推進するために、苗木の購入に対して補助をする。
補助率 苗木購入価格の1/10
目標面積 65ha 栽培面積の約10%
新しい化導入による効果
① 早期収穫・定植後3年目には収穫可能
作業性がよい・地上で管理作業の70%以上が可能
③ 高品質な果実の安定生産が可能
- 果樹共済加入促進対策事業
災害発生時へのリスクを軽減させ果樹農家の経営安定を図るため、果樹共済への加入率向上を目的に、加入掛金を補助。
補助率 農家負担掛金の2/10
- 集出荷施設整備事業
集出荷施設を整備する団体に対し、整備に要する経費を補助
補助率 1/10以内

< 現状に対する認識 >

- りんご産地再生モデル事業
平成30年6月に発生したリンゴ黒星病により、県内産の苗木が必要に追い付かず、目標面積の65haを達成するため次年度以降も推進する。
- 果樹共済加入促進対策事業
令和元年度より収入保険が開始され国は収入保険への移行を推進。
- 集出荷整備事業
令和元年度はJA松本ハイルランドの果樹共選所選果機更新を補助。公益性の高い事業に対し、補助を検討する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	新しい化栽培導入面積(ha)				
指標の設定理由	栽培面積の約10%にあたる65haの新しい化栽培の導入を目指す				
目標値		52.3	60.9	65.0	65.0
実績値	42.2	49.7	52.7	58.9	
達成度	#DIV/0!	95.0%	86.5%	90.6%	-
成果指標(指標名)	果樹共済加入率(%)				
指標の設定理由	加入率50%を目指すため				
目標値	42.5	44.0	45.5	47.0	48.5
実績値	42.5	41.3	41.5	36.7	
達成度	100.0%	93.9%	91.2%	78.1%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	17,488		17,897		14,451		50,789		10,620	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	17,488		17,897		14,451		50,789		10,620	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	25,178		25,487		22,001		58,389		10,620	
前年度比	-		101.2%		86.3%		265.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	畜産振興
-------	------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	畜産振興費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

地域における畜産業の経営安定を図るため、広域家畜診療所への運営費負担及び農家等への支援事業を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 長野県農業共済組合 家畜診療所運営費負担金
 中信地区の広域的な家畜診療所運営に対し運営費を負担するもの。活動指標は診療件数。
- 農畜産物生産出荷安定対策事業
 畜産物の価格変動による農家経営の不安定化を防止するため、共済掛金等に補助を行うもの。活動指標は加入頭(量)数。
- 高品質畜産物生産基盤確立支援事業
 酪農ヘルパーの利用、優良豚の解体及び等級の高い肉用牛の出荷へ補助を行い、畜産農家の生産意欲向上と経営安定を目指すもの。活動指標はそれぞれ総利用回数、解体頭数、出荷頭数。

< 現状に対する認識 >

高齢化による畜産農家の減少に加え、子牛・飼料価格の高騰による経営圧迫など、畜産業は厳しい状況にある。畜産業を継続させていくためにも引き続き補助事業等支援策が求められている。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	酪農ヘルパー利用総数				
指標の設定理由	酪農経営の作業効率や生産性向上の状況を測ることができるため				
目標値	580	580	580	580	580
実績値	579	528	665	812	
達成度	99.8%	91.0%	114.7%	140.0%	-
成果指標(指標名)	肉用牛の公社への出荷頭数(A4以上)				
指標の設定理由	質の良い肉用牛の出荷状況が把握できるため				
目標値	550	550	550	550	550
実績値	638	717	579	667	
達成度	116.0%	130.4%	105.3%	121.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	208,714	12,173	10,967	11,666	11,510	
国・県	198,542	0				
利用者負担金						
その他						
一般財源	10,172	12,173	10,967	11,666	11,510	
人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,550	人工
正規	7,690	1	7,590	1	7,550	1
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	216,404	19,763	18,517	19,266	11,510	
前年度比	-	9.1%	93.7%	104.0%	-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	畜産振興
-------	------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	畜産振興費

< 事業の狙い > 事業計画年度 ~

家畜防疫対策緊急支援事業
 豚熱は強い伝染力と高い致死率があり、養豚場で発生した場合の畜産業への影響は甚大であることから、豚熱の農場への伝染を防止するため、農場が実施する防疫対策に対し支援を実施するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業概要
 取組主体 畜産農家、畜産者の組織する団体等
 対象取組 野生イノシシの侵入防護柵設置、車両等の消毒機械の設置、電気防護柵、その他の防護柵、消毒ゲート、動力噴霧器
 補助率 国庫事業：防護柵設置：国1/2、県1/4、市1/4
 県単事業：防護柵設置、消毒機械：県1/2、市1/2

2 令和元年度事業内容
 該当農場 1農場
 実施内容 国庫事業：脂ネット+電気柵 234m(市1/4補助)
 県単事業：ワイヤーメッシュ柵 240m(市1/2補助)

< 現状に対する認識 >

市内養豚農家が飼育する豚へのワクチン接種が完了していることから、感染リスクは低くなっている。しかし、これまでも野生イノシシの豚熱感染は確認されており、投与前の子豚や免疫が十分にできない豚への感染リスクは残っているため、引き続き感染まん延防止の対策が必要

< 指標の達成状況 >	総合評価				
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				294	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源				294	
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				7,600	1
嘱託				0	
合計コスト +				7,894	
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	四賀有機センター管理
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀有機センター管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

家畜排せつ物を堆肥化することにより畜産環境問題を改善し、有機肥料として販売することで農地の土壌改良と化学肥料の使用を減らした持続性の高い農業生産方式の導入を促進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 農家から持ち込まれる畜糞の堆肥化
 - 搬入農家 3法人
- 有機堆肥の販売・散布
 - 30袋、フレコン、バラの3種類による販売
 - 散布機によるほ場への散布
- 臭気対策
 - 堆肥化に伴う悪臭の削減と飛散防止
 - 臭気モニターにより発生状況を把握し、原因究明と対策を図った。
 - 建物の隙間の密閉化による飛散防止
 - 上記の対策によって、苦情件数も減り臭気モニター委託の結果も皆減した。
- 施設の用途廃止に向けた検討
 - 今後の施設に係る収支改善が見込めないことなどから、市として当該施設の用途廃止に向けた方向性を打ち出した。

< 現状に対する認識 >

・施設の老朽化及び今後の増収も見込めない状況から、施設稼働当初から続く単年度収支赤字は増大している。
 ・目標としていた新たな経営形態(指定管理者制度)への移行については、地元町会との協議を重ねてきたが、直営による施設運営を強く希望する考えに変わりがないため実施ができない状況
 ・こうした現状を踏まえた中で、市としての施設のあり方について、搬入業者の畜糞処理体制が整い次第、用途廃止する方向性を打ち出した。

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	堆肥販売量(t)				
指標の設定理由	健康な土づくりの拡充の状況を直接的に測定できるため				
目標値	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
実績値	1,545	1,485	1,080	866	
達成度	107.3%	103.1%	75.0%	60.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	44,143	38,099	54,342	37,023	40,110
国・県					
利用者負担金	10,557	10,908	6,192	6,173	9,400
その他	17,968	10,656	7,788	5,711	10,760
一般財源	15,618	16,535	40,362	25,139	19,950
人件費(千円)	8,830	8,746	8,730	8,792	
人工					
正規	7,690	7,590	7,550	7,600	
嘱託	1,140	1,156	1,180	1,192	
合計コスト +	52,973	46,845	63,072	45,815	40,110
前年度比	-	88.4%	134.6%	72.6%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市場一般管理
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	公設市場
予算中事業名	市場一般管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

平成元年～

長野県全域をエリアとした生鮮流通拠点である公設地方卸売市場の公正、公平かつ効率的な管理運営を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 市場の管理運営業務
当該市場の管理運営業務を指定管理者へ委託
指定管理者名
松本市場管理株式会社(特命指定)
指定管理期間
平成29年度～令和3年度

< 現状に対する認識 >

指定管理者による運営が8年目となる中、卸売市場法改正に伴う規制緩和により、食品流通を取り巻く環境は大きな転換期を迎える。11年目以降の運営方針について、市としても方向性を見出す時期となってきたため、民営化も含めた今後の市場の在り方を検討していかなければならない。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)				
指標の設定理由	市場の取扱について客観的に示すことができる指標であるため				
目標値	430	430	430	430	430
実績値	383	367	345	335	
達成度	89.1%	85.3%	80.2%	77.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	199,169		217,443		224,440		217,539		239,330	
国・県										
利用者負担金	141,833		155,289		160,150		153,676		170,162	
その他	57,336		62,154		64,290		63,863		69,168	
一般財源										
人件費(千円)	3,845	人工	3,795	人工	3,775	人工	7,600	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,775	0.5	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	203,014		221,238		228,215		225,139		239,330	
前年度比	-		109.0%		103.2%		98.7%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	松本市公設地方卸売市場施設管理
-------	-----------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	公設市場
予算中事業名	市場施設管理費

< 事業の狙い > 事業計画年度 平成元年～

当該市場は長野県全域をエリアとした生鮮流通拠点であることから、老朽化等により市場機能が停止することのないよう、収益的支出に関わる改修工事を継続実施し、機能維持及び安全確保を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 市場施設管理
 建設から30年以上が経過しており、市場内の施設や設備の老朽化が著しいことから、機能維持や安全確保のため改修工事を実施
 水産卸売場保冷設備改修工事
 平成16年に設置。経年劣化が著しく故障の発生や冷却能力の低下が危惧されていたため、改修工事を実施
 改修内容
 ・ユニットクーラー12台、コンデンシングユニット2基の交換
 ・リモートコンデンサの撤去

< 現状に対する認識 >

・ 耐用年数を超えた未改修の施設・設備が多数あることから、老朽化や故障等で市場機能が停止しないよう、改修工事が必要。
 ・ 随時工事計画を見直し、老朽化や劣化が著しく緊急性の高いものから順次改修工事が必要
 ・ 令和2年度に実施する建物劣化度調査を受け、大規模改修時期や民営化も含めた今後の市場の在り方を検討していかなければならない。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A				
	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)					
指標の設定理由	市場の取扱について客観的に示すことができる指標であるため					
目標値	430	430	430	430	430	
実績値	383	367	345	335		
達成度	89.1%	85.3%	80.2%	77.9%	-	
成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	2,200	2,651	70,202	37,816	92,020
国・県					
利用者負担金	1,540	1,856	49,141	26,471	64,414
その他	660	795	21,061	11,345	27,606
一般財源					
人件費(千円)	385	380	1,133	1,140	
人工					
正規	385	0.05	1,133	0.15	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	2,585	3,031	71,335	38,956	92,020
前年度比	-	117.3%	2353.9%	54.6%	-

事務事業評価票

事務事業名	松本市公設地方卸売市場施設整備事業
-------	-------------------

< 予算上の位置付け >

会計名	公設市場
予算中事業名	市場施設整備事業費

< 事業の狙い > 事業計画年度 平成元年～

当該市場は長野県全域をエリアとした生鮮流通拠点であることから、老朽化等により市場機能が停止することのないよう、資本的支出に関わる改修工事を継続実施し、機能維持及び安全確保を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 市場施設整備事業
 建設から30年以上が経過しており、市場内の舗装劣化が著しいため、荷崩れ等の事故が発生しないよう、劣化・損傷している舗装の改修工事を実施
 舗装改修工事
 工事場所 主棟東側及び南側通路
 工事面積 舗装工 A=7,410m²

< 現状に対する認識 >

- 荷崩れ等の事故により市場機能に支障をきたすことのないよう、随時劣化が著しい舗装の改修工事が必要
- 随時工事計画を見直し、老朽化や劣化が著しく緊急性の高いものから順次改修工事が必要
- 令和2年度に実施する建物劣化度調査を受け、大規模改修時期や民営化も含めた今後の市場の在り方を検討していかなければならない。

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)				
指標の設定理由	市場の取扱について客観的に示すことができる指標であるため				
目標値	430	430	430	430	430
実績値	383	367	345	335	
達成度	89.1%	85.3%	80.2%	77.9%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	46,732	30,726	34,463	35,420	42,380
国・県					
利用者負担金	46,732	30,726	34,463	35,420	42,380
その他					
一般財源					
人件費(千円)	1,154	1,139	1,133	1,140	
正規	1,154	1,139	1,133	1,140	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	47,886	31,865	35,596	36,560	42,380
前年度比	-	66.5%	111.7%	102.7%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	農産物生産振興対策事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農産物生産振興対策事業費

<事業の狙い> 事業計画年度 R元 ~ R2

農業用ハウス強靱化緊急対策事業
 近年の台風、大雪等の度重なる災害により、農業用ハウスに甚大な被害が生じており、施設園芸の経営及び野菜等の安定供給に影響を及ぼしている。そこで、災害に強い施設園芸産地づくりを進めるためハウスの補強や防風ネットの設置等の対策を支援する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

農業用ハウスの災害被害を軽減するために行われる、技術講習会の開催、既設ハウスの補強等の取り組みに支援する。(実施期間:令和2年度末まで)

- 事業内容
 - 取組主体
 - 農業者の組織する団体、農業者等
 - 対象取組・補助率
 - ア 被害防止技術講習会の開催 定額
 - イ 既存ハウスの被害防止対策 事業費の1/2以内
- 令和元年度事業内容
 - 既存ハウスの被害防止対策
 - ハウス補強(大雪、強風対策) 5名
 - 加温機設置(大雪対策) 1名

<現状に対する認識>

近年の豪雨、強風、大雪被害等の多発と被害拡大を踏まえ、十分な耐久性のない可能性のある農業用ハウスの点検等を行い、老朽化等により対策が必要な農業用ハウスは、補強の対策を実施する。

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				3,070	0
国・県				3,070	
利用者負担金					
その他					
一般財源				0	
人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規				3800	0.5
嘱託				0	
合計コスト +				6,870	0
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

事務事業名	そ采花き振興
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	そ采花き振興費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	0610000
-----	-----	----	-----	-----	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
市長公約	主な取り組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

令和元年

国際フラワーフォーラム2019 世界に誇る県産花きの魅力を発信しつつ、国内における花きの新需要の創出を一層図ることを目的として、「第36回全国都市緑化信州フェア(信州花フェス)」の開催に合わせ「国際フラワーフォーラム2019」を開催

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

世界に誇る長野県産花きの魅力を発信しつつ、教育、医療・福祉、観光分野等多分野での利用推進、新たな利用シーンの提案、日常生活における新たな花贈り・花飾りの提案等、花きの幅広い活用について、花き産業に係る産・学・官が連携して発信することで、花きの生産振興と、国内外における花きの需要の創出・拡大に資する。	
1 事業内容	
開催日	令和元年6月14日(金)・15日(日) 第36回全国都市緑化信州フェア(信州花フェス)の開催に合わせて開催
開催場所	やまびこドーム
開催内容	新需要創出フォーラム 講演会、パネルディスカッションなど 花の魅力発信イベント フラワーファッションショー、全国高校生花いけバトル 長野大会など 花とふれあう体験教室 花育教育 花のある暮らしの提案等展示 フラワーアレンジメント展示、県内主要品種の秀品花き展示など
その他	本市は開催市として実行委員会へ参画

< 現状に対する認識 >

切り花の消費は年々減少傾向にある。世界に誇る長野県産花きの魅力を発信しつつ、教育、医療・福祉、観光分野等多分野での利用推進、新たな利用シーンの提案、日常生活における新たな花贈り・花飾りの提案等、花きの幅広い活用について、花き産業に係る産・学・官が連携して発信することで、花きの生産振興と、国内外における花きの需要創出・拡大に資する。
--

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	国際フラワーフォーラム2019参加人数				
指標の設定理由	花きの新規需要創出と新たな花文化の創造を来場者にPR				
目標値				9,000	
実績値				11,330	
達成度				125.9%	
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)				106	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源				106	0
人件費(千円)					
人工				3,800	人工
正規				3800	0.5
嘱託				0	
合計コスト +				3,906	0
前年度比	-	-	-	-	-

耕地林務課

課長 岩田 公晴

事務事業評価票

事務事業名	農村公園管理
-------	--------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農村公園管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農村地域における地域住民等のコミュニティーづくりを図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 農村公園の保全管理に関する業務
- 2 農村公園内外の清掃、除草に関する業務
- 3 農村公園付随の施設の管理に関する業務
- 4 指定管理による管理運営の実施
しがビューティフルパーク

< 現状に対する認識 >

農村公園の安全確保を図る
農村地域における農業者等のコミュニティーづくり及び地域農業の振興を図ることを目的としているが、人口や周囲の住環境の変化により、利用されない公園も見受けられる。今後の存続についての検討が必要

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

5つの重点目標	松本版総合戦略
主な取り組み	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	しがビューティフルパーク利用人数(人)				
指標の設定理由	マレットゴルフ場の使用申込み人数の確認				
目標値	1300	1300	1300	1300	1300
実績値	1494	1375	1294	1312	
達成度	114.9%	105.8%	99.5%	100.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,274		4,654		4,654		4,736		4,850	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,274		4,654		4,654		4,736		4,850	
人件費(千円)	3,361	人工	3,325	人工	3,315	人工	3,338	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,020	0.4	3,040	0.4		
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	10,635		7,979		7,969		8,074		4,850	
前年度比	-		75.0%		99.9%		101.3%		-	

事務事業評価票

事務事業名	農林業有害鳥獣対策事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農林業被害の軽減を図るため

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 個体数調整、有害鳥獣管理
野生鳥獣による農林業被害を減少させるため、有害鳥獣の個体数調整を行いました。
令和元年度捕獲状況
指標のとおり
- 2 有害鳥獣の集落へ出没した場合の対応
猟友会員を鳥獣被害対策実施隊員(非常勤公務員)として任命しました。(317名)
- 3 地域住民自らが、対象鳥獣捕獲を実施
集落等捕獲隊の設立(四賀79名、入山辺59名、中山32名、安曇17名、梓川23名)
- 4 新規銃猟者への支援
駆除従事者確保のため、新規銃猟者に対する支援を行いました(新規銃猟者3名)

< 現状に対する認識 >

鳥獣による農林業被害は、防護柵の設置と捕獲圧の維持により大型獣類は減少しているが、西部地区にてサルによる被害と、市全域で鳥類と中小獣類による被害の相談が寄せられていることから、平成29年度からは捕獲意欲を高めるためカラスの捕獲は1羽1,000円としました。市街地での捕獲は出来ないため郊外での捕獲に重点を置き、行政境を超え山形村と合同捕獲の実施等連携を強化しています。

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	獣類捕獲				
指標の設定理由	農林業被害に基づく有害鳥獣駆除実施計画を作成				
目標値	2,130	2,203	2,203	2,400	2,250
実績値	2,512	2,557	1,926	1,602	
達成度	117.9%	116.1%	87.4%	66.8%	-
成果指標(指標名)	鳥類捕獲				
指標の設定理由	農林業被害に基づく有害鳥獣駆除実施計画を作成				
目標値	5,200	5,200	5,200	5,200	3,520
実績値	4,733	3,882	2,500	3,125	
達成度	91.0%	74.7%	48.1%	60.1%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	17,270	17,560	21,178	22,168	25,470
国・県	8,408	6,617	7,521	9,059	12,260
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,862	10,943	13,657	13,109	13,210
人件費(千円)	14,385	12,830	12,800	12,890	
正規	11,535	11,385	11,325	11,400	
嘱託	2,850	1,445	1,475	1,490	
合計コスト +	31,655	30,390	33,978	35,058	25,470
前年度比	-	96.0%	111.8%	103.2%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林造成事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み		
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進		5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
				松本版総合戦略		再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市内の森林の水源涵養・山地災害防止等の多面的機能を発揮させるため、松本市森林整備計画に基づき森林整備を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 市有林造成事業
市が管理する市内の市有林整備の実施
- 森林造成事業補助金
林業事業者等が実施する森林整備に対して市高上げ補助を実施
- 森林整備地域活動支援交付金事業
林業事業者が森林経営計画の作成に対する経費の市高上げ補助を実施

< 現状に対する認識 >

森林は林産物の生産のみならず、水源かん養等公益的機能を持っているが、材価の低迷等により森林所有者等の山離れが進み、適切な手入れがされていない森林があることから、森林整備に対する市高上げ補助を実施し、森林所有者の個人負担を軽減する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	目標面積(ha)				
指標の設定理由	森林の持つ多面的な機能を発揮させる。				
目標値	280	280	280	280	280
実績値	159	117	129	65	
達成度	56.8%	41.8%	46.1%	23.2%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	23,246	19,823	29,694	20,131	19,170	
国・県	2,903	2,957	6,536	2,174	2,700	
利用者負担金	0	0	0	0	2,240	
その他	2,426	779	7,751	2,824	0	
一般財源	17,917	16,087	15,407	15,133	14,230	
人件費(千円)	7,690	人工	5,132	人工	4,825	人工
正規	7,690	1	4,554	0.6	4,530	0.6
嘱託	0		578	0.2	295	0.1
合計コスト +	30,936	24,955	34,519	24,989	19,170	
前年度比	-	80.7%	138.3%	72.4%	-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市民の野外レクリエーション活動の推進を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 指定管理事業
施設の使用受付、許可、使用料徴収、施設の維持管理及び事業の企画運営等を主な業務として、TOY BOXへ委託
- 施設の改修事業
快適な施設利用や、利用者数の増加を目的とした施設改修等の実施

< 現状に対する認識 >

施設設置から20年余りが経過し、施設の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松本市美鈴湖もりの国利用者数(人)				
指標の設定理由	事業の成果が直接図れる数値のため(指定管理者の数値目標と同様)				
目標値	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
実績値	5,881	5,495	5,667	5,922	
達成度	106.9%	99.9%	103.0%	107.7%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	7,158	8,176	7,167	6,429	6,980					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,158	8,176	7,167	6,429	6,980					
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	9,465	10,453	9,432	8,709	6,980					
前年度比	-	110.4%	90.2%	92.3%	-					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松くい虫対策事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		生物の多様性を考慮した自然環境の保全
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松くい虫対策事業費

<事業の狙い> 事業計画年度 平成29年度～平成33年度

松くい虫被害のまん延を防止するため

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松くい虫被害木の伐倒駆除
令和元年度 4,973m³
- 対策協議会の設立
対策協議会設立数 6協議会
- 松くい虫被害拡大防止に向けた個人等への補助
樹幹注入補助 62件、被害木伐採 170件(見込み)
- 森林での被害状況調査
調査日数 115日
- 被害拡大防止のため、無人ヘリコプターによる薬剤散布の実施
四賀地区 10.7ha
- 松くい虫被害感染確認
検体調査数 101本
うち44本が感染確認

<現状に対する認識>

・松くい虫被害は、市民の協力を得る中、各種対策を講じているが、被害は拡大している。守るべき松林の明確化を図り、対策を集中するとともに、被害先端地の徹底駆除に取り組む。

<指標の達成状況>

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松くい虫被害木の伐倒駆除				
指標の設定理由	感染木の早期伐採により、感染拡大防止を抑制するもの				
目標値	感染木伐採 3,500m ³ /年				
実績値	3,707	3,573	3,664	4,973	
達成度	105.9%	102.1%	104.7%	110.5%	
成果指標(指標名)	対策協議会設立				
指標の設定理由	被害進行に対する対策の市民の意向を早期に反映させるもの				
目標値	未設置地区での協議会の設立				
実績値	4	5	6	6	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100%	

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	95,295	95,306	99,696	232,339	149,050
国・県	53,428	68,489	68,582	115,065	109,460
利用者負担金					
その他					
一般財源	41,867	26,817	31,114	47,179	39,590
人件費(千円)	14,385	12,830	12,800	12,890	
正規	11,535	11,385	11,325	11,400	
嘱託	2,850	1,445	1,475	1,490	
合計コスト +	109,680	108,136	112,496	245,229	149,050
前年度比	-	98.6%	104.0%	218.0%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業施設管理
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

林業を主要産業とし、林業従事者等の確保を図る。また、田舎と都市の交流の場所として、里山を中心とした森林の多目的利用、公益的な施設を通じて自然環境学習を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 林業センター・林業者等健康増進管理集会施設・五常集落生活環境施設施設管理を行い、林業者等の労働環境を整備する。
- 2 環境学習の森管理事業
指定管理者制度で交流促進センター等の施設管理や環境林の整備を行う。
- 3 千鹿頭山森林公園
施設の維持管理を行い、安心して利用できる環境を整える。

< 現状に対する認識 >

・林業施設の老朽化や交流促進センター等の利用者が減少しているため、施設維持管理の検討を図る。
・公園内のアカマツの松枯被害が拡大しつつあり、蔓延防止のための対策が必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	林業者等健康増進管理集会施設(%)				
指標の設定理由	林業センターの利用促進(人)				
目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
実績値	1,523	1,545	1,455	1,580	
達成度	101.5%	103.0%	97.0%	105.3%	-
成果指標(指標名)	環境学習の森管理事業(%)				
指標の設定理由	環境学習の森の交流センター、コテージの利用促進(人)				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	830	821	731	600	
達成度	83.0%	82.1%	73.1%	60.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	11,056		10,177		10,872		10,744		10,890	
国・県										
利用者負担金					110		210		290	
その他										
一般財源	11,056		10,177		10,762		10,534		10,600	
人件費(千円)	10,282	人工	10,156	人工	10,110	人工	10,178	人工		人工
正規	9,997	1.3	9,867	1.3	9,815	1.3	9,880	1.3		
嘱託	285	0.1	289	0.1	295	0.1	298	0.1		
合計コスト +	21,338		20,333		20,982		20,922		10,890	
前年度比	-		95.3%		103.2%		99.7%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	0615000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	林道維持管理
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市で管理する林道の安全確保のため、適切な維持管理を行う。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

松本市管理林道 92路線、延長 275,482m

- 林道管理委託
巡回、路面清掃、側溝清掃、除草、除雪 等 1式
- 林道維持工事
舗装補修、路盤維持、法面・路肩補修等工事 1式
災害復旧工事(単独) 1件

< 現状に対する認識 >

林道は森林整備のためだけでなく、観光、生活利用される路線もあるため、引き続き安全管理に努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	車両事故発生件数				
指標の設定理由	交通車両の安全確保が最大の目的であるため。				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	
達成度	100%	100%	100%	100%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	35,911		49,380		49,620		47,692		47,650	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	35,911		49,380		49,620		47,692		47,650	
人件費(千円)	2,307	人工	3,795	人工	3,775	人工	3,800	人工		人工
正規	2,307	0.3	3,795	0.5	3,775	0.5	3,800	0.5		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	38,218		53,175		53,395		51,492		47,650	
前年度比	-		139.1%		100.4%		96.4%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業振興
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

森林資源の有効利用を行うことにより、地球温暖化の抑制や二酸化炭素削減を図り、木材利用の拡大を図るもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ペレットストーブ購入事業補助金
ペレットストーブ購入者に対して本体価格の1/2を補助するもの。
(上限100千円)
- 薪ストーブ購入事業補助金
薪ストーブ購入者に対して本体価格の1/2を補助するもの。
(上限100千円)

<現状に対する認識>

市内の森林の有効活用を促進するため、ペレット、薪ストーブに助成し、地域資源の有価値化を図っていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	目標台数(ペレットストーブ)				
指標の設定理由	ストーブ設置台数を把握し、木材利用の拡大を図る。				
目標値	70	77	84	96	108
実績値	70	77	84	96	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	-				
指標の設定理由	ストーブ設置台数を把握し、木材利用の拡大を図る。				
目標値		10	40	70	100
実績値		10	37	62	
達成度	#DIV/0!	100.0%	92.5%	88.6%	0.0%

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	700		1,683		3,395		3,659		4,200	
国・県	700		683		525		899		900	
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		1,000		2,870		2,760		3,300	
人件費(千円)	2,307	人工	3,541	人工	3,870	人工	3,904	人工		人工
正規	2,307	0.3	1,518	0.2	1,510	0.2	1,520	0.2		
嘱託	0		2,023	0.7	2,360	0.8	2,384	0.8		
合計コスト +	3,007		5,224		7,265		7,563		4,200	
前年度比	-		173.7%		139.1%		104.1%		-	

事務事業評価票

事務事業名	補助林道整備事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

4 ~ R4

森林の整備・管理の効率化に不可欠であり、路線により生活道路・観光道路としても利用される、林道網の整備を計画的に行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

開設工事(1路線)
 高遠線 L= 132m

改良工事(2路線)
 美ヶ原線 L= 89m(2工区計)
 宮ノ入線 L= 152m

< 現状に対する認識 >

国県の補助制度を活用し、計画的に整備を進める。
 特に美ヶ原線は構造物の老朽化が進んでいるため、重点的な改良工事を進める。

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

5つの重点目標	松本版総合戦略
主な取組み	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	林道開設延長(m)				
指標の設定理由	林道は森林整備の基幹インフラであるため。				
目標値	173	195	189	140	370
実績値	211	79	67	132	
達成度	122.0%	40.5%	35.4%	94.3%	-
成果指標(指標名)	林道改良延長(m)				
指標の設定理由	林道は森林整備の基幹インフラであるため。				
目標値	361	400	285	192	125
実績値	407	369	123	241	
達成度	112.7%	92.3%	43.2%	125.5%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	55,112	49,248	52,297	72,764	76,210
国・県	19,837	21,226	22,690	34,649	35,350
利用者負担金					
その他					
一般財源	35,275	28,022	29,607	38,115	40,860
人件費(千円)	11,535	11,385	11,325	11,400	
正規	11,535	11,385	11,325	11,400	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	66,647	60,633	63,622	84,164	76,210
前年度比	-	91.0%	104.9%	132.3%	-

事務事業評価票

事務事業名	カラマツ材販路拡大事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	カラマツ材販路拡大事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度 28～R5

市内の民有林の3割を占める主要樹種であるカラマツが伐期を迎えているが、主な用途は合板材料となっている。このカラマツ材の用途を拡大し、生産量を増やし、有用な地域資源として、地域の林業振興を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- カラマツ材住宅補助金制度(H30～)
住宅建築へのカラマツ利用を促進するため、県産カラマツ材を20万円以上使用した木造住宅の新築、リフォームに対し補助金を交付(1件 10万円)令和元年度、要綱改正により工務店の所在地要件を廃止、補助対象カラマツ製品に構造用合板を加え、より使いやすい制度とした。
- 第4回信州バザール出展(令和元年11月2日、3日)
カラマツ材住宅補助金の事例パネル等の展示PR

< 現状に対する認識 >

・カラマツ材住宅補助金は一定の成果をあげている。令和2年度で3年目を迎えるため、さらに利用が増えるよう制度を見直す予定。
・カラマツ材の生産流通量を増やすため、令和2年度から市有林カラマツの主伐の実施を計画

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み		地域産材需要の掘り起こし
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		松本産品のブランド化

< 指標の達成状況 >

総合評価 A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	カラマツ材住宅補助金の支給件数(H30～)				
指標の設定理由	市民に直接補助金を支給する事業であるため。				
目標値		-	20	40	60
実績値		0	7	22	
達成度	#DIV/0!	#VALUE!	35.0%	55.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	6,664	748	700	1,500	1,030
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,664	748	700	1,500	1,030
人件費(千円)	2,307	2,277	2,265	3,040	
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265
嘱託	0	0	0	0	0
人工					
合計コスト +	8,971	3,025	2,965	4,540	1,030
前年度比	-	33.7%	98.0%	153.1%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
市長公約	主な取り組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

林業振興に資する団体への負担金の拠出

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会ほか4団体への負担金

- 1 県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会
森林の適正な整備と保全、緑づくりの保全及び林業の振興を図る。
- 2 野俣林道愛護会
朝日村内にある野俣林道の整備及び維持管理を、受益者共同で行う。
- 3 長野県特用林産物振興会
まつたけ等の特用林産物の生産振興を図る。
- 4 朝日地区林野警備連合会
朝日村内の市有林、財産区有林等の火災予防等の保護活動を共同で行う。
- 5 長野県造林協会
森林の健全な育成に寄与するため、上部団体である日本造林協会とともに研究会の開催等、適切な措置を講ずる。

< 現状に対する認識 >

それぞれの団体により、林業の振興や森林保全の取り組みが図られている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	加盟団体への負担金であるため、指標設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,740		2,501		2,730		2,635		2,590	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,740		2,501		2,730		2,635		2,590	
人件費(千円)	1,538	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	1,538	0.2	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	4,278		3,260		3,485		3,395		2,590	
前年度比	-		76.2%		106.9%		97.4%		-	

事務事業評価票

事務事業名	多面的機能支払交付金事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	多面的機能支払交付金事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H19 ~

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

農業者等が共同して取組む地域資源の基礎的な保全活動や、地域資源の質的向上を図る活動に対して支援するもの。(旧松本市、四賀地区)

1 農地維持支払交付金
農地法面の草刈り、水路の泥上げ等の地域資源の基礎的な保全活動等へ支援
田3,000円、畑2,000円、草地240円(10a当り)

2 資源向上支払交付金
(1) 質的向上を図る共同活動
水路・農道等の軽微な補修や植栽による農村環境保全活動等への支援
田2,400円、畑1,440円、草地240円(10a当り)
(2) 施設の長寿命化のための活動
老朽化した水路・農道などの施設の補修・更新等への支援
田4,400円、畑2,000円、草地400円(10a当り)

3 負担割合 国50%、県25%、市25%

4 令和元年度
農地維持支払 3,042ha 83,938千円
共同活動 1,797ha 34,799千円

< 現状に対する認識 >

1 事業主体は地元活動組織ですが、比較的高度な事務処理が求められるため、組織によっては事務処理者の確保等に苦慮している。

2 集落単位の小規模組織の合併や、組織の広域化を進め、事務処理負担の軽減を図る必要がある。

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み			農業を支える女性や担い手への感謝と支援
5つの重点目標		3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略			松本産品のブランド化

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	取組目標面積(ha)				
指標の設定理由	取組面積の事業の成果が直接図れる数値のため				
目標値	2,500	2,832	2,839	2,847	2,854
実績値	2,505	3,037	3,006	3,042	
達成度	100.2%	107.2%	105.9%	106.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
事業費(千円)	179,720	202,343	170,872	213,014	236,240					
国・県	134,790	151,885	128,287	159,760	217,890					
利用者負担金										
その他										
一般財源	44,930	50,458	42,585	53,254	18,350					
人件費(千円)	8,258	人工	21,803	人工	24,425	人工	24,597	人工		人工
正規	5,921	0.77	17,381	2.29	21,593	2.86	21,736	2.86		
嘱託	2,337	0.82	4,422	1.53	2,832	0.96	2,861	0.96		
合計コスト +	187,978	224,146	195,297	237,611	236,240					
前年度比	-	119.2%	87.1%	121.7%	-					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独耕地事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5つの重点目標
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独耕地事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農業経営者の維持管理の負担を軽減し、経営の安定と生産性の向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 市単土地改良事業補助金
土地改良区、農業協同組合、水利組合等の団体が行う農業用施設の改修等に要する費用に対して補助金を交付するもの
・補助率 6/10
(令和元年度)
86件 40,132千円(補助金額)
- 市単原材料費
土地改良区、農業協同組合、水利組合等の団体が行う農業用施設の補修に必要な原材料を支給するもの
(令和元年度)
40件 2,365千円
- 市単工事請負費
松本市が維持管理する農道、用排水路等の農業用施設の維持補修工事費
(令和元年度)
30箇所 31,730千円

< 現状に対する認識 >

- ・補助制度や原材料支給など、農業経営者(団体)に浸透し積極的に活用されていると認識しています。
- ・今後の展開として補助率向上が考えられますが、予算が限られている中では活用者が減少してしまうので、当面は現制度を継続する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	実績に対する補助のため指標設定が困難				
指標の設定理由					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	62,263	61,467	73,275	74,227	70,060
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	62,263	61,467	75,275	74,227	70,060
人件費(千円)	15,600	11,619	14,093	14,192	
人工					
正規	14,688	9,943	12,382	12,464	
嘱託	912	1,676	1,711	1,728	
合計コスト +	77,863	73,086	87,368	88,419	70,060
前年度比	-	93.9%	119.5%	101.2%	-

事務事業評価票

事務事業名	県営土地改良事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	県営土地改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

老朽化した農業用施設等の整備を行い、安定した用水確保及び維持管理の軽減を図ることにより農業経営を向上させるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

安定した農業経営基盤を確保するため、長野県が実施する老朽化した農業用水路等の整備や、耐震性に問題がある農業用ため池の改修費用の一部を負担するもの

- かんがい排水事業(国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%)
老朽化した、農業用水路改修事業の費用を負担するもの
(令和元年度)
二区堰地区 110,000千円 × 12.5% = 13,750千円
鎖川地区 101,000千円 × 10% = 10,100千円
- 畑地帯総合整備事業(国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%他)
老朽化した畑かん施設の総合的な整備の費用を負担するもの
(令和元年度)
北耕地地区 36,000千円 × 8.75% = 3,150千円
古池原地区 250,000千円 × 8.75 ~ 12.75% = 20,115千円
- 農村地域防災減災事業(国55%、県34%、市11%)
H24・25年度の農業用ため池堤体耐震調査の結果、耐震性に問題のあるため池の改修費用を負担するもの
(令和元年度)
神沢池 78,000千円 × 11% = 8,580千円
田溝池 30,000千円 × 11% = 3,300千円

< 現状に対する認識 >

- 老朽化した農業水利施設等の補修・更新を、受益者負担を抑えながら実施するためには、県営事業を活用することは有効であると考えます。
- 国庫補助事業で行うため、事業の進捗が国の予算配分に影響される。

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	実績に対する負担金のため指標設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	39,850		17,117		45,300		58,995		31,580	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	39,850		17,117		45,300		58,995		31,580	
人件費(千円)	2,461	人工	3,416	人工	3548.5	人工	3,572	人工		人工
正規	2,461	0.32	3,416	0.45	3548.5	0.47	3572	0.47		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	42,311		20,533		48,849		62,567		31,580	
前年度比	-		48.5%		237.9%		128.1%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
-------	-----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	土地改良施設維持管理適正化事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

土地改良施設(農業用水利施設等)を改修し農業生産基盤及び農村生活環境の整備改善を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 内容
国の採択を受けて、土地改良区が計画的に実施する土地改良事業の経費に対して補助金を交付。
- 補助率
事業費の1/5

< 現状に対する認識 >

土地改良施設の維持管理費の負担軽減を図るため、継続した支援が必要。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	土地改良区の事業実績に対する補助のため目標設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	6,840		7,834		7,570		8,015		6,860	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	6,840		7,834		7,570		8,015		6,860	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	7,609		8,593		8,325		8,775		6,860	
前年度比	-		112.9%		96.9%		105.4%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業
-------	------------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業費

< 事業の狙い >	事業計画年度	H22 ~ H34
国営事業等で整備した農業水利施設が持つ多面的機能を継続的に発揮させるため、施設の管理体制を整備するもの		

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業主体	中信平土地改良区連合
2 事業内容	農業水利施設の維持管理費のうち、多面的機能分を補助
3 補助率及び負担区分	10/10(国50%、県10%、市40%)

< 現状に対する認識 >

・施設の維持管理に係る農業者の負担軽減を図る。
・国の補助事業を活用し、維持管理費を補助する。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	対象となる農業水利施設(頭首工数)				
指標の設定理由	農業水利施設が持つ多面的機能を継続的に発揮させるため				
目標値	1	1	1	1	
実績値	1	1	1	1	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	対象となる農業水利施設(用水路延長)				
指標の設定理由	農業水利施設が持つ多面的機能を継続的に発揮させるため				
目標値	136	136	136	136	
実績値	136	136	136	136	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	15,847	12,428	12,504	11,643	11,670
国・県	9,508	7,457	7,501	6,985	6,990
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,339	4,971	5,003	4,658	4,680
人件費(千円)	769	759	755	760	
正規	769	759	755	760	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	16,616	13,187	13,259	12,403	11,670
前年度比	-	79.4%	100.5%	93.5%	-

事務事業評価票

事務事業名	団体営土地改良事業
-------	-----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	団体営土地改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

土地改良区等の団体が行う地域のニーズに応じた基盤整備を促進し、農業競争力の強化と担い手への農地の集積を図る

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

土地改良区等の団体が国や県の補助を受けて実施する農業基盤整備について事業費の一部を補助するもの

1 団体営土地改良事業
(令和元年度事業)

事業主体 松本市寿土地改良区
 整備内容 暗渠排水の整備
 負担割合 国50%, 県14%, 市18%, 地元18%
 事業の種類 農地耕作条件改善事業
 補助金額 4,000千円 × 18% = 720千円

< 現状に対する認識 >

土地改良区等の受益者が、自らの農業用施設等の状況を把握し、主体となって整備を行うことを促進するために有効な事業であると考えます。

市単補助金より受益者負担が少ないので、積極的な活用について指導助言をしていきます。

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標		魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)		産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み			農業を支える女性や担い手への感謝と支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略			松本製品のブランド化

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	実績に対する補助金のため指標設定が困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,110		1,760		600		720		540	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,110		1,760		600		720		540	
人件費(千円)	738	人工	734	人工	584	人工	589	人工		人工
正規	538	0.07	531	0.07	377.5	0.05	380	0.05		
嘱託	200	0.07	202	0.07	206.5	0.07	208.6	0.07		
合計コスト +	7,848		2,494		1,184		1,309		540	
前年度比	-		31.8%		47.5%		110.5%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(耕地林務課)
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金(耕地林務課)

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

土地改良事業を推進するため、農業・農村振興に資する団体へ負担金を拠出するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

県土地改良事業団体連合会への負担金分

- 長野県土地改良事業団体連合会
 - 土地改良事業に対する技術援助
 - 農地・農業用施設災害復旧事業に対する技術援助
 - 土地改良事業に対する教育及び情報の提供
 - 土地改良区体制強化事業の実施
 - 水利施設等保全高度化事業の実施 等

< 現状に対する認識 >

--

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	67		69		36		36		40	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	67		69		36		36		40	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	836		828		791		796		40	
前年度比	-		99.0%		95.5%		100.6%		-	

事務事業評価票

事務事業名	森林環境譲与税活用事業
-------	-------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R1~

国から譲与される森林環境譲与税を活用し、森林経営管理法に基づき、適切な経営管理が行われていない私有林人工林を、所有者から委託をうけて市が管理を行う「森林経営管理制度」によって森林整備の推進を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 森林経営管理制度
市は所有者を確認、経営管理が行われていない森林の選定、意向調査などを実施する。
森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、市が森林経営管理の委託を受ける。
森林経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に再委託する。
再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林においては、市が管理を実施する。

2 意向調査の実施
令和2年度から、森林所有者に対する意向調査を実施予定
対象面積:約4,400ha
対象所有者数:約5,900者

森林環境譲与税は、当面は森林経営管理制度にかかる費用に充当することとし、その他の用途については慎重に検討していく。

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み	松本産農産物のブランド化と販路拡大		
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略	新しい働き方・雇用の創出		

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	意向調査の進捗率				
指標の設定理由					
目標値					4.3%
実績値					
達成度					-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	0	9,210
国・県					
利用者負担金					
その他					9,210
一般財源					
人件費(千円)	0	人工	0	人工	0
正規	0	0	0	3,800	0.5
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	0	0	0	3,800	9,210
前年度比	-	-	-	-	-

西部農林課

課長 矢田 長智

事務事業評価票

事務事業名	健康生きがい市民農園事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	健康生きがい市民農園事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

農作物の栽培を通じて、自然に親しみ農作業に対する理解を深めるとともに、地域農業の振興を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律の規定に基づき、市が行う農地貸付の実施及び管理運営を行うもの

- 1 梓川やまと農園
 - 募集区画 17区画 (R1利用実績 17区画)
 - 50㎡区画 3,000円/年額(15区画) 75㎡区画 4,500円/年額(2区画)
- 2 波田ふれあい農園
 - (1)波多農園
 - 募集区画 18区画 (R1利用実績 18区画)
 - 75㎡区画 2,800円/年額
 - (2)町道農園
 - 募集区画 28区画 (R1利用実績 28区画)
 - 75㎡区画 2,800円/年額
 - (3)島農園
 - 募集区画 28区画 (R1利用実績 28区画)
 - 75㎡区画 2,800円/年額

< 現状に対する認識 >

- ・募集区画に対して、利用実績が100%と高い利用率を維持している。
- ・市民が農業に対する関心を持っていることが認識できる。
- ・引き続き市民への積極的な利用の周知を図る。

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	利用区画数(区)				
指標の設定理由	利用区画数により市民が農業に対する関心状況を把握できるため				
目標値	91	91	91	91	91
実績値	89	89	90	91	
達成度	97.8%	97.8%	98.9%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	125	131	128	133	160
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	125	131	128	133	160
人件費(千円)	570	人工 380	人工 385	人工 380	人工
正規	0	380	0.05 385	0.05 380	0.05
嘱託	570	0.2 0	0 0	0 0	
合計コスト +	695	511	513	513	160
前年度比	-	73.5%	100.4%	100.1%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農村公園管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農村公園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

~

農村地域のコミュニティーづくりを通じて地域農業の振興を図るため、農村公園の維持管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容	農村公園の日常維持管理及び遊具等の改修を行なうもの
2 農村公園	奈川地区 1公園 梓川地区 5公園 波田地区 1公園
3 活動実績	・遊具の日常点検、園内清掃及び樹木の剪定等 地元町会、シルバー人材センター等へ業務委託 7公園 ・公園遊具改修 複合遊具改修他 ・公園施設修繕 四阿等修繕

<現状に対する認識>

引き続き農村公園の維持管理等を行い、地域農業の振興に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	事故発生件数				
指標の設定理由	適正な維持管理状況を表すため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,320		2,234		1,980		2,485		2,340	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,320		2,234		1,760		2,485		2,340	
人件費(千円)	615	人工	607	人工	615	人工	615	人工		人工
正規	615	0.08	607	0.08	615	0.08	615	0.08		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	2,935		2,841		2,595		3,100		2,340	
前年度比	-		96.8%		91.3%		119.5%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5つの重点目標
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	中山間地域等直接支払推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H27~

中山間地域等における農業生産活動の維持を通じ、耕作放棄地発生防止、多面的機能を確保するとともに、平地地域との農業生産条件の均整を直接的に補正するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

中山間地域等直接支払交付金(国庫事業)

1 事業内容

中山間地域等における耕作放棄地の発生防止と、多面的機能を確保するため、集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等の活動に対して交付金を支給するもの

2 対象地区及び集落数

- (1) 奈川地区...5集落(神谷、金原、黒川渡、古宿、田ノ萱地区)
- (2) 波田地区の一部(知事の指定する地域)...1集落(中下原地区)

3 補助内容

集落協定に位置づけられている農用地について、地目及び区分毎の交付金単価に対象面積を乗じる。

奈川地区(補助率 国:1/3、県:1/4、市1/4)

交付申請面積 田:246a 畑:117a 交付金額 5,453,868円

波田地区(補助率 国:1/3、県:1/3、市:1/3)

交付申請面積 田:21a 交付金額 446,040円

4 活動内容

- (1) 集落の各担当者の活動
- (2) 集落マスタープランの将来像を実現するための活動
- (3) 水路、農道等の維持・管理活動
- (4) 集落協定に基づき農用地の維持・管理活動

< 現状に対する認識 >

・各集落の耕作放棄地の発生が防止されている。
 ・水路や法面、農道など多面的機能も協定に基づく活動により整備されている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	中山間地域等直接支払交付金集落協定数				
指標の設定理由	集落の農地の維持を把握することができるため				
目標値	6	6	6	6	6
実績値	6	6	6	6	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	5,998		5,999		5,989		5,986		6,110	
国・県	4,388		4,388		4,388		4,387		4,527	
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,610		1,611		1,601		1,602		1,583	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	8,305		8,276		8,296		8,266		6,110	
前年度比	-		99.7%		100.2%		99.6%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	西部地区農業振興関連施設管理
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け > < 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	西部地区農業振興関連施設管理費

< 事業の狙い > 事業計画年度 H25 ~

- ・地場産業の振興と、地域の活性化を図る。
- ・農林業に従事する者の福祉の増進と、交流の促進を図る。
- ・市民福祉の増進と文化の向上を図る。
- ・地域に関する情報の発信と経済の活性化を図る。
- ・市民の交流促進と特産物の開発を通じ、農業及び地域の活性化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 事業の内容
- 西部地区の農業関連施設の維持管理をするもの
 - 安曇番所農産物加工販売施設
 - 安曇島々農産物加工販売施設
 - 安曇屋内交流広場(ゲートボール場)
 - 安曇後継者集会施設(R元 所管替)
 - 安曇稲核農産物加工販売施設
 - 安曇風穴の里
 - グレンパークさわんど
 - ながわ山彩館
 - 奈川新規就農者技術習得管理施設
 - 梓川水田農産物処理加工施設(あずさ夢工房)
 - 梓川地場産品直売センター
 - 波田農産物加工販売施設(味工房はた)

< 現状に対する認識 >

西部地区には合併前に建設された施設が複数設置されていることから、松本市公共施設等総合管理計画、松本市公共施設再配置計画の方針に基づき「施設のあり方」について引き続き検討する。

< 指標の達成状況 >	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	ながわ山彩館利用者数				
指標の設定理由	利用者数により交流状況が把握できるため				
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
実績値	1,742	1,516	1,479	1,458	
達成度	134.0%	116.6%	113.8%	112.2%	-
成果指標(指標名)	梓川水田農産物処理加工施設【あずさ夢工房】利用者数				
指標の設定理由	利用者数により交流状況が把握できるため				
目標値	200	200	200	200	200
実績値	165	168	163	168	
達成度	82.5%	84.0%	81.5%	84.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	43,304	48,753	22,799	12,440	16,430
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	43,304	48,753	22,799	12,440	16,430
人件費(千円)	16,805	18,975	15,380	15,200	
正規	15,380	18,975	15,380	15,200	
嘱託	1,425	0	0	0	
合計コスト +	60,109	67,728	38,179	27,640	16,430
前年度比	-	112.7%	56.4%	72.4%	-

事務事業評価票

事務事業名	農畜産物マーケティング推進事業
-------	-----------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農畜産物マーケティング推進事業

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
市長公約	主な取組み		松本産農産物のブランド化と販路拡大
市長公約	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
市長公約	松本版総合戦略		松本産品のブランド化

< 事業の狙い > 事業計画年度 H27~

地域の魅力ある地元産食材のブランド化を図るため、生産・販売拡大等に取組み、地区の農業振興と地域振興を推進する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 1 奈川産食材ブランド化推進事業
実施内容
ア 奈川在来そば、エゴマのPRイベントの開催などによる消費拡大
イ 奈川そばの生産拡大に向けた栽培技術の調査研究
ウ 奈川地区の食材を柱とした商品開発と高齢者の生きがいづくり
活動指標
奈川在来そばの作付け面積1,300アール(R1実績1,170アール)
- 2 特産品ブランド化推進事業
実施内容
「奈川保平かぶ」「安曇稲核菜」「安曇番所きゅうり」のブランド化の推進
ア 専門家の指導による種子の系統選抜、栽培技術の研修
イ うま味成分の分析・機能性成分検査結果による優位性のPRの実施
ウ 商品開発による消費拡大
エ 地元観光営業施設、飲食店への食材提供のための商談会の実施
活動指標
伝統野菜の作付け面積の拡大 348アール(R1実績185アール)

< 現状に対する認識 >

- 1 全国的に知名度を高めるため、「とうじそば」をはじめとする奈川産食材・食文化を地元の風土・文化と結びつけ、イメージアップを図り販売を促進する必要がある。
- 2 地元産地内の観光営業施設、近接する白骨温泉・上高地の施設においても提供されるように取組む必要がある。
- 3 伝統野菜の作付け面積を増やす取組みを積極的に図る必要がある。

< 指標の達成状況 >

区分	総合評価				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	奈川在来そばの作付け面積(単位:アール)				
指標の設定理由	奈川在来そばの生産拡大の目安とするため、作付け面積を指標とした				
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
実績値	870	1,140	1,170	1,170	
達成度	66.9%	87.7%	90.0%	90.0%	-
成果指標(指標名)	伝統野菜の作付け面積(単位:アール)				
指標の設定理由	伝統野菜の生産(伝承)促進の目安とするため、作付け面積を指標とした				
目標値	348	348	348	348	348
実績値	248	190	125	185	
達成度	71.3%	54.6%	35.9%	53.2%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	9,190		8,282		6,010		4,530		300	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,190		8,282		6,010		4,530		300	
人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,307	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3	2,280	0.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	11,497		10,559		8,317		6,810		300	
前年度比	-		91.8%		78.8%		81.9%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	クラインガルテン関連施設管理
-------	----------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	クラインガルテン関連施設管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H27~

農業後継者不足による遊休農地の有効活用と豊かな自然、風土を守り、都市と農村の交流を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容
指定管理者制度による管理運営
ア 奈川地域内にある大原、神谷、入山の3箇所のクラインガルテンを指定管理者により管理運営している。
イ 指定管理者をとおして、利用者への農業指導と地域で行われる行事への参加を促し、地域住民と利用者との交流を図っている。
指定管理料 8,071千円
指定期間 平成30年度～令和2年度
施設概要
大原クラインガルテン 35棟
神谷クラインガルテン 18棟
入山クラインガルテン 7棟 合計 60棟
2 活動指標
指定管理者のイベント実施数 (R1年度実績24回)

< 現状に対する認識 >

1 平成30年度から指定管理者を1団体で、管理運営している。効率的、合理的な運営形態への推進を図りながらも、3地区の独自性が失われないための活動を継続するよう指導している。
2 施設の利用率をさらに高めるよう、利用者の満足度向上のため、参加しなくなるような、魅力あるイベント開催など交流事業の実施について、継続的に実施されるよう、指定管理者と調整を図っていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	イベント実施回数				
指標の設定理由	イベントの実施回数により地域交流の状況が把握できるため				
目標値	24	24	24	24	24
実績値	24	24	24	24	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	15,876	13,680	17,869	18,853	17,760
国・県					
利用者負担金					
その他	2,236	2,265	2,167	3,109	1,810
一般財源	13,640	11,415	15,702	15,744	15,950
人件費(千円)	1,538	1,518	1,538	1,520	
人工	0.2	0.2	0.2	0.2	
正規	0	0	0	0	
嘱託					
合計コスト +	17,414	15,198	19,407	20,373	17,760
前年度比	-	87.3%	127.7%	105.0%	-

事務事業評価票

事務事業名	農業者育成事業
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H25 ~

新規就農者や認定農業者及び地域の団体等を支援することで、農業者育成を図る。また、耕作放棄地化を未然に防止することや、女性の農業への積極的な進出を促進するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 農業者の育成を支援するもの

新規就農者支援事業補助金(補助率1/2以内 上限500千円)
経営が不安定な新規就農者に機械等の取得を支援し、育成を図る。
(R1実績 2件 事業費 1,441千円 補助金額 720千円)

未来を担う農業経営者支援事業(補助率1/3以内 上限2,000千円)
意欲ある農業の担い手を育成するため、経営規模拡大や効率的な経営を目指す認定農業者に対して農業機械等のリース及び取得用の一部を補助するもの
(R1実績 17件 事業費 64,390千円 補助金額 18,501千円)

強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業補助金
(補助率3/10もしくは、融資額のうちいずれか少ない額)
地域の中心となる経営体が融資を受けて導入する機械施設等の整備に要する経費に助成する国庫補助事業
農業後継者組織育成強化事業補助金
(交付団体名:梓川農業青年会議 17人)
農業の社会的・経済的地位の向上と地域農業を活性化させるため、技術の研究、農業環境の改善等に取り組んでいる。
(R1実績 決算額 190千円)

梓川女性フォーラム補助金(交付団体名:梓川女性団体連絡協議会)
心豊かな農村地域づくりと女性の社会参画について考え、活力ある地域づくりに貢献するもの(R1実績 来場者数 約150人 決算額 120千円)

< 現状に対する認識 >

今後も認定農業者等への積極的な支援を推進するとともに、将来の担い手として期待される女性農業者への支援を拡充する必要がある。

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	認定農業者数(人)				
指標の設定理由	経営意欲のある中核的な農業経営者数を把握することができる				
目標値	510	515	520	525	530
実績値	491	511	522	533	
達成度	96.3%	99.2%	100.4%	101.5%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	11,619		14,117		10,107		19,531		14,690	
国・県			3,000						3,000	
利用者負担金										
その他										
一般財源	11,619		11,117		10,107		19,531		11,690	
人件費(千円)	3,219	人工	3,036	人工	3,076	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,076	0.4	3,040	0.4		
嘱託	143	0.05	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	14,838		17,153		13,183		22,571		14,690	
前年度比	-		115.6%		76.9%		171.2%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	遊休荒廃農地対策事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	遊休荒廃農地対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

耕作放棄地の解消作業を行い、農地として再活用する者に対し補助金を交付するもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

遊休荒廃農地対策事業補助金
耕作放棄地解消のために行う草木の伐採及び抜根、耕運、土壌改良剤の投与等の再生作業に要する経費に対し、3,500円/a~7,000円/aの範囲で補助を行うもの

< 現状に対する認識 >

遊休農地を活用して規模拡大を行う大規模農家の活用が見込まれる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	荒廃農地解消面積(a)				
指標の設定理由	荒廃農地が解消され農地の有効利用が促進されるため				
目標値	80	80	80	80	80
実績値	41	110	0	0	
達成度	51.3%	137.5%	0.0%	0.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	246		660		0		0		210	
国・県	205		550							
利用者負担金										
その他										
一般財源	41		110		0		0		210	
人件費(千円)	2,592	人工	2,566	人工	2,307	人工	2,280	人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,307	0.3	2,280	0.3		
嘱託	285	0.1	289	0.1	0		0			
合計コスト +	2,838		3,226		2,307		2,280		210	
前年度比	-		113.7%		71.5%		98.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	地域営農システム推進事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	地域営農システム推進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

組織への支援を通じて、意欲ある農業者が安心・安全な食料生産、住みよい環境づくり及び地域の農業の振興を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

梓川営農支援センター事業【梓川地区】	
1 事業内容	梓川地区の農業振興を図るため、組織に対して助成するもの 構成団体 JA他12団体 構成員 55人 地区農家組合数 19組織
2 活動指標	取り組み体制の充実 担い手の育成、集落営農の取組み 農業基本構想、水田農業ビジョンに沿った実践活動 優良農地保全と有効利用の促進 環境に優しい農業の推進と農村環境の整備運動 農産物の付加価値向上、地域農産物のPRと地域交流の促進
3 負担金	2,630千円

< 現状に対する認識 >

全国的に農業関連組織が衰退する中、組織体制を充実させ地区農家組合活動を支援することで、地域農業の持続的展開を図る。

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	営農支援センター農家組合活動回数				
指標の設定理由	活動回数により取り組み状況が把握できるため				
目標値	285	285	285	285	285
実績値	275	241	391	460	
達成度	96.5%	84.6%	137.2%	161.4%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,630		2,630		2,630		2,630		2,630	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,630		2,630		2,630		2,630		2,630	
人件費(千円)	3,334	人工	3,360	人工	3,334	人工	3,442	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1	760	0.1		
嘱託	2,565	0.9	2,601	0.9	2,565	0.9	2,682	0.9		
合計コスト +	5,964		5,990		5,964		6,072		2,630	
前年度比	-		100.4%		99.6%		101.8%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林業有害鳥獣対策事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5つの重点目標
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

野生鳥獣の適正個体数調整を行い、農林業及び人的被害の抑制を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容
<ul style="list-style-type: none"> 有害鳥獣駆除に伴う現場調査等業務 通報によるクマ、サル、イノシシ等鳥獣被害現地調査及びパトロール 通報によるサル等の追い払い クマ捕獲許可申請や学習放獣の立会い ワナ設置等に関する猟友会との調整 関係支所への注意喚起放送の依頼 猟友会員の免許更新に伴う証明書発行 猟友会に貸与した罠の修繕
2 業務実績
<ul style="list-style-type: none"> ツキノワグマ学習放獣 6件 猟友会証明書発行 26件

ツキノワグマは例年並みの発生状況であった。サルについては有効な捕獲手段が無く苦慮しており地元や猟友会と協力して効率的な捕獲方法を研究していく必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	西部地区のクマによる人身被害発生件数				
指標の設定理由	人身被害の発生件数が活動成果の一部を表すと考えられるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	2	1	0	0	
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	28		29		54		38		200	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	28		29		54		38		200	
人件費(千円)	1,923	人工	1,898	人工	1,923	人工	1,900	人工		人工
正規	1,923	0.25	1,898	0.25	1,923	0.25	1,900	0.25		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	1,951		1,927		1,977		1,938		200	
前年度比	-		98.8%		102.6%		98.1%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林造成事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

市有林の整備を行うとともに、林業事業者が実施する森林造成事業に対して補助金等を交付するなど、森林機能の維持向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 森林造成事業
第7次松本市森林整備計画に基づき、10年間で4,400haの間伐を実施 市有林造成事業を委託 (国庫補助事業 補助率 国 40%、県30%) 私有林の整備に関する嵩上補助を実施 補助対象事業費の30%以内
2 その他
森林の里親事業補助業務の委託(消耗品購入含む)並びに事業内容の調整及び当日作業(森林整備・都市との交流)
3 活動実績
市有林間伐等業務委託 8.4ha 森林の里親業務委託 嵩上げ補助 1件(奈川地区 6.0ha)

< 現状に対する認識 >

森林簿データで計画を策定しているが、生育状況により、間伐対象とならないケースがあり、計画と実績が乖離してしまうケースがある。事前の正確な現地把握が課題。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	市有林造成面積(ha)				
指標の設定理由	市有林造成面積が事業の進捗状況を表すため				
目標値	0.1	12.8	13.4	13.6	18.0
実績値	0.1	5	11.1	8.4	
達成度	100.0%	39.1%	82.8%	61.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
事業費(千円)	35,684	13,390	22,777	19,597	40,010	
国・県	1,725	9,317	7,144	3,923	4,680	
利用者負担金						
その他			8,344	2,947	4,050	
一般財源	33,959	4,073	7,289	12,727	31,280	
人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,383	人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,383	0.7
嘱託	0		0		0	
合計コスト +	41,067	18,703	28,160	24,917	40,010	
前年度比	-	45.5%	150.6%	88.5%	-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(西部農林課)
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

H16~

波田植木まつり：波田地区の特産品のPRと緑化・花いっぱい推進を図るもの
 中信地区水源林造林協議会：水源林事業の円滑な推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 波田植木まつり
 波田地区のPRと緑化・花いっぱいの推進を目的に行なわれる事業に対して、苗木無料配布費用相当分を負担するもの。
 負担金 80,000円(苗木 200本相当)
 主催 波田植木まつり実行委員会
 共催 松本市波田商工会工業部会庭園緑化部、松本市波田観光協会
 協賛 恋人の丘サラダマーケット、味工房はた
 開催時期 信州花フェスタ2019と同時開催
 4月25日から6月16日の内 6日開催
- 中信地区水源林造林協議会
 負担金 37,100円
 中信地区内の(独)森林総合研究所農地整備センターと分収造林契約を結んだ市町村、財産区等で構成される組織であり、会員及び関係機関との連絡や中央要望等を行い水源林造林事業の推進を図るもの。

<現状に対する認識>

波田植木まつり
 来場者から一定の良い評価を得ており、引き続き支援を行なっていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	波田植木まつり来場者数				
指標の設定理由	来場者数により活動状況が把握できるため				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,500	1,000	980	1,600	
達成度	150.0%	100.0%	98.0%	160.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	106	106	110	117	120
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	106	106	110	117	120
人件費(千円)	77	76	76.9	76	
正規	77	0.01	76	0.01	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	183	182	187	193	120
前年度比	-	99.5%	102.7%	103.3%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業施設管理
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

林業関連施設の適切な維持管理を行い、利用者の利便性向上を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1	林業施設の管理 黒川林道通行管理 林道ゲートの鍵の貸出し管理を民間に委託し適正な通行管理を行なうもの 奈川林業者研修宿泊施設の維持管理 浄化槽及び建物の定期点検委託等 (施設概要) 宿泊施設 2棟 (単身用2戸、世帯用3戸) 集会施設 1棟
2	活動実績 黒川林道鍵貸出し件数 185件

< 現状に対する認識 >

林業者研修宿泊施設は、近年の道路網の整備や林業従事者の減少等に等により入居者がいないため貸し出しをしていない状況にある。
 今後は、長野県の「森林づくり県民税活用事業」などの各種施策により、林業の振興も期待されるが、利用状況の低迷が続くようであれば、施設の廃止等を含めあり方を検討する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	林道使用者数				
指標の設定理由	利活用状況が把握できるため				
目標値	250	250	250	250	250
実績値	325	258	329	347	
達成度	130.0%	103.2%	131.6%	138.8%	-
成果指標(指標名)	林業者研修宿泊施設への入居戸数				
指標の設定理由	利活用状況が把握できるため				
目標値	5	5	5	5	5
実績値	1	1	0	0	
達成度	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	183	6,233	190	155	140
国・県					
利用者負担金					
その他	144	84	0	0	0
一般財源	39	6,149	190	155	140
人件費(千円)	77	人工 1,594	人工 77	人工 76	人工
正規	77	0.01	1,594	0.21	77
嘱託	0		0		0
合計コスト +	260	7,827	267	231	140
前年度比	-	3011.5%	3.4%	86.5%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林道維持管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標
—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

～

安全な道路状態を確保するため、林道の補修及び整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 林道維持管理事業
林道の維持管理を行い、通行の安全を確保するもの
- 業務内容
 - 林道維持管理業務
 - 林道奈川安曇線(AB線)の維持管理業務委託
 - A線冬期閉鎖解除に伴う除雪清掃業務委託
 - 林道除草業務委託(奈川地区12路線、安曇地区4路線)
 - 奈川安曇線他10路線の補修整備工事

<現状に対する認識>

自然条件等による林道施設の老朽化、破損等が増加している。林道施設の適正な管理のため、引続き各種整備を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事故発生件数				
指標の設定理由	適正な維持管理状況が把握できるため				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0	0	0	0	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	39,023		32,505		32,537		41,034		41,960	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	39,023		32,505		32,554		41,034		41,960	
② 人件費(千円)	4,700	人工	3,882	人工	4,700	人工	4,694	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	3,845	0.5	3,800	0.5		
嘱託	855	0.3	87	0.3	855	0.3	894	0.3		
合計コスト①+②	43,723		36,387		37,237		45,728		41,960	
前年度比	-		83.2%		102.3%		122.8%		-	

事務事業評価票

事務事業名	単独林道整備事業
-------	----------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独林道整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R1~

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確立するため、林道奈川安曇線の整備を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容及び事業実績
林道奈川安曇線トンネル延命化事業
ア 事業実施内容
老朽化している林道奈川安曇線B線の蛭窪トンネルの延命化工事を行うもの
イ 令和元年度事業実績
空洞対策工事 L = 151m (空洞裏込め注入は143m施工)
林道奈川安曇線B線舗装改修事業(単独)
ア 事業実施内容
林道奈川安曇線B線の舗装打替え工事を計画的に実施するもの
イ 令和元年度事業実績
林道奈川安曇線B線 舗装改修工事 L = 230m
2 財 源 過疎対策事業債
工事請負費:過疎債100%
測量設計、監督補助委託:過疎債100%

< 現状に対する認識 >

奈川地区から乗鞍高原、白骨温泉を結ぶ幹線林道であるが、落石や舗装面の痛みが多く施設も老朽化しているため、継続して整備を行う必要がある。整備促進には財源確保が課題であり、令和元年度からのB線の舗装とトンネル空洞対策は、単独事業として過疎債を利用して整備を行っている。

部局名	農林部	課 名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	-----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	トンネル調査・整備延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値				151	115
実績値				151	
達成度				100.0%	-
成果指標(指標名)	工事改良延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値				140	540
実績値				230	
達成度				164.3%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	98,841	102,770
国・県					
利用者負担金					
その他				98,800	102,700
一般財源				41	70
人件費(千円)	0	人工	0	人工	7600
正規	0	0	0	0	7600
嘱託	0	0	0	0	1
合計コスト +	0	0	0	106,441	102,770
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業振興事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5つの重点目標
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

森林病害虫から森林を守り、森林環境の保全を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 業務の実施内容	松くい虫被害拡大防止のため、被害木のパトロール等を行うもの	
2 業務内容	アカマツ枯損木の確認パトロール 枯損木の検体サンプルの収集及び県への検査依頼	
3 活動実績	パトロール実施	48回(概ね週1回)
	検体サンプル採取本数	29本

< 現状に対する認識 >

松くい虫被害のまん延を防止するため引き続き事業を継続する。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	松くい虫被害拡大防止のためのパトロール実施回数 (回)				
指標の設定理由	監視活動の状況が把握できるため				
目標値	52	52	52	52	52
実績値	52	50	52	48	
達成度	100.0%	96.2%	100.0%	92.3%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	136		117		220		142		150	
国・県										
利用者負担金										
その他	90		80		80		90		80	
一般財源	46		37		140		60		70	
人件費(千円)	1,624	人工	1,626	人工	1,624	人工	1,654	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1	760	0.1		
嘱託	855	0.3	867	0.3	855	0.3	894	0.3		
合計コスト +	1,760		1,743		1,844		1,796		150	
前年度比	-		99.0%		105.8%		97.4%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	県単林道事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	県単林道事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線B線の整備を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 林道奈川安曇線(B)線改良事業
林道奈川安曇線(B線)の改良・舗装工事を行うもの
延長 L = 6,240m
- 財源
工事請負費: 県60%、過疎債40%
測量設計、監督補助委託: 過疎債100%
- R元事業実績
路肩改良工事 L = 75m

< 現状に対する認識 >

補助事業で対応できない路肩整備や舗装補修等を行なっているが、県からの補助金額は定額である。県では補助金の廃止も検討されており、今後の増額は望めないため、財源確保が課題。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	整備延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により進捗状況が把握できるため				
目標値	80	60	74	50	50
実績値	67	32	78	75	
達成度	83.8%	53.3%	105.4%	150.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	8,240		8,240		8,262		8,410		8,450	
国・県	4,617		4,617		4,617		4,617		4,610	
利用者負担金										
その他	3,600		3,600		3,600		3,700		3,800	
一般財源	23		23		45		93		40	
人件費(千円)	3,076	人工	3,036	人工	3,076	人工	3,040	人工		人工
正規	3,076	0.4	3,036	0.4	3,076	0.4	3,040	0.4		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	11,316		11,276		11,338		11,450		8,450	
前年度比	-		99.6%		100.5%		101.0%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助林道整備事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線の整備を行うもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容及び事業実績
林道奈川安曇線改良事業
ア 事業実施内容
林道奈川安曇線の改良、舗装工事を行うもの。
イ 令和元年度事業実績
林道奈川安曇線A線 法面改良工事 L=31m
林道奈川安曇線トンネル延命化事業 R1より単独林道整備事業へ
ア 事業実施内容
老朽化している林道奈川安曇線B線の蛭窪トンネルの延命化工事を行うもの。
イ 平成30年度事業実績
空洞対策工事 L=125m(空洞裏込め注入は70m施工)
2 補助事業名 農産漁村地域整備交付金
3 財源
工事請負費:国50%、県1%、過疎債49%
測量設計、監督補助委託:過疎債100%

< 現状に対する認識 >

奈川地区から乗鞍高原、白骨温泉を結ぶ幹線林道であるが、落石や舗装面の痛みが多く施設も老朽化しているため、継続して整備を行う必要がある。平成30年度は国庫補助の内示状況により、B線の整備が実施出来なかった。整備促進には財源確保が課題であり、令和元年度からはB線の舗装とトンネル空洞対策は、単独事業として過疎債を利用して整備を行っている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	林道整備延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	118	210	222	57	54
実績値	48	93	62	31	
達成度	40.7%	44.3%	27.9%	54.4%	0.0%
成果指標(指標名)	トンネル調査・整備延長(m)				
指標の設定理由	整備延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	573	285	125	-	-
実績値	573	573	125	-	-
達成度	100.0%	201.1%	100.0%	-	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	36,709	46,278	99,274	49,964	54,920
国・県	18,175	20,792	10,189	24,357	26,020
利用者負担金					
その他	11,500	25,300	89,000	24,100	28,800
一般財源	7,034	186	85	1,507	100
人件費(千円)	7,690	人工	11,385	人工	11,535
正規	7,690	1	11,385	1.5	11,535
嘱託	0		0		0
合計コスト +	44,399	57,663	110,809	53,764	54,920
前年度比	-	129.9%	192.2%	48.5%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農産物生産振興対策事業
-------	-------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農産物生産振興対策事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17～R元

奈川の特産品であるそばの振興を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

奈川そばコンバイン等格納施設賃借料

- 事業内容
そば関係農機具、乾燥機等の保管・作業施設として利用し、そばによる地域振興を図る。
機械化による高齢者等の作業負担の軽減・荒廃農地拡大の防止と復元を図る。
- 活動指標
そば栽培対象農地面積 40ha (目標値は対象の9割)
令和元年実績 36.3ha
- 地域に農業法人が設立され、自主的な運営が開始されたため、R元年度で事業終了。

< 現状に対する認識 >

- 荒廃農地の拡大防止と復元を図るには、継続的な取り組みが必要であるが、地域に農業法人が設立され、そば振興を主体に自主的な取り組みが開始された。
- 米の乾燥調整作業、荷受け作業の効率化、労働環境の改善が図られる。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	そば作付け面積(ha)				
指標の設定理由	作付け面積により効果が直接的に把握できるため				
目標値	36	36	36	36	
実績値	36.6	31.2	32.3	36.3	
達成度	101.7%	86.7%	89.7%	100.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	115,647		261		261		261			
国・県	94,964									
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,683		261		261		261			
人件費(千円)	2,307	人工	76	人工	77	人工	76	人工		人工
正規	2,307	0.3	76	0.01	77	0.01	76	0.01		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	117,954		337		338		337		0	
前年度比	-		0.3%		100.3%		99.7%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	そ菜花き振興費
-------	---------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5つの重点目標
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	そ菜花き振興費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R元 ~ R元

国際競争力を図るため、地域の営農戦略に基づいて実施する産地の高収益化に向けた取組みを総合的に支援する。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

産地パワーアップ事業

高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械や機器リース導入に要する経費、施設整備に必要な経費、改植時に必要な経費、転換期に必要な資材導入などに要する経費等を支援する。補助率1/2以内。

- 取組主体
松本農業再生協議会
- 事業内容
セルリー栽培施設(パイプハウス)の資材導入
2連棟×5棟
- 決算額(令和元年度 6月補正予算計上)
(1)事業費 13,867,200円
(2)補助金 6,420,000円(国 6,420,000円)

< 現状に対する認識 >

セルリー栽培施設(ビニールハウス)導入により通年栽培体制が整い、産地としての高収益化が図られた。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	国の政策的事業と連動しているため、目標値設定ができない。				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)							6,420			
国・県							6,420			
利用者負担金										
その他										
一般財源							0			
人件費(千円)	0	人工	0	人工	0	人工	760	人工		人工
正規	0		0		0		760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	0		0		0		7,180		0	
前年度比	-		-		-		-		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

< 第10次基本計画の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

< 事業の狙い >

事業計画年度

H17~

梓川地域の農業組織に対して支援を実施し、野菜、果物の特産品の振興と課題に向けた取り組みを整理し、需要の動向に即した生産性の向上及び適地適産による主産地形成を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 梓川園芸特産振興協議会(負担金) 【梓川地区】
野菜特産振興 (試験実証ほ場の設置 ジュース用トマト 1箇所)
そ菜共進会への参加
有害鳥獣駆除への協力
- うまいだもの推進対策梓川実践本部(負担金) 【梓川地区】
生産安定対策
交配蜂の利用及び導入(ツツハナバチ・ミツバチの利用)
栽培規模拡大対策
ア もも新品種導入対策
・新品種の導入及び栽培技術の確立
イ ぶどう大粒種結実確保対策
・適地適産品種及び栽培技術の検討
ウ 新興果樹栽培対策
・生産安定対策及び栽培技術の確立
エ なし栽培技術対策
・結実確保対策及び防霜資材の検討
有害鳥獣被害対策
「ウルフピー」による、サル、イノシシ忌避効果試験

< 現状に対する認識 >

継続的な組織への支援(育成)は、産地形成に対して必要である。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	対策試験(試験数)				
指標の設定理由	地域の特産品の振興と課題に向けた取り組みが把握できるため				
目標値	8	8	8	8	8
実績値	8	8	8	8	
達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	150	150	150	150	150
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	150	150	150	150	150
人件費(千円)	29	29	29	30	
人工	29	29	29	30	
正規	0	0	0	0	
嘱託	29	0.01	29	0.01	29.8
0.01					
合計コスト +	179	179	179	180	150
前年度比	-	100.2%	99.8%	100.7%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	畜産振興
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	畜産振興費

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

放牧飼育できる場所の提供等により畜産振興を図り、農林業・観光の振興と
 荒廃地の拡大を防止することにより、地域振興へ繋げる。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 赤田沢牧場賃借料
(1)事業内容 市が牧場用地を国から借受け(有)山岳牧畜研究会へ貸出し、高品質な乳製品等の加工、ブラウンスイス種を広大な草地で放牧飼育できる場所の提供する。
(2)活動指標 施設規模による飼育可能頭数 35頭 (R1年度実績 20頭)

<現状に対する認識>

・近年酪農家の減少に伴い放牧牛が減少しているため継続的な支援を行っている。
 ・活動指標の目標値が35頭、令和元年度の実績が20頭の状況となっているが、飼育頭数の目標値は、あくまでも目安として設定しており、高品質な乳製品(牛乳、チーズ、ヨーグルト等)の製造を主体としているため、牛の環境を考慮した頭数を維持している。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	施設規模によるブラウンスイス種(乳牛)の飼育可能頭数				
指標の設定理由	畜産振興の状況が把握できるため				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	27	20	18	20	
達成度	77.1%	57.1%	51.4%	57.1%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	415		400		179		143		150	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	415		400		179		143		150	
人件費(千円)	1,439	人工	1,428	人工	1,439	人工	1,438	人工		人工
正規	1,154	0.15	1,139	0.15	1,154	0.15	1,140	0.15		
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1	298	0.1		
合計コスト +	1,854		1,828		1,618		1,581		150	
前年度比	-		98.6%		88.5%		97.7%		-	

事務事業評価票

事務事業名	多面的機能支払交付金事業
-------	--------------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	多面的機能支払交付金事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H26 ~

地域が共同で農地・水路等施設の維持管理、農村環境の向上に関する取組み及び農業施設等の長寿命化への取組みを行い地域の農業振興に努めるもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同して取組む地域活動や、地域資源(農地・水路・農道等)の質的向上に資する活動に対して支援するもの(対象農地 農振農用地区域内の農地)

- 農地維持支払
農地・水路の法面の草刈り、泥上げ等の地域資源の保全・管理活動への支援: 田3,000円、畑2,000円、草地240円(10a当り)
令和元年度実績値 取組組織数 10組織、取組面積 938.89ha
- 資源向上支払(共同活動)
水路、農道等の軽微な補修や植栽などの環境保全活動への支援
田1,800円、畑1,080円、草地160円(10a当り)
令和元年度実績値 取組組織数 3組織、取組面積 171.60ha
- 資源向上支払(長寿命化)
老朽化した水路、農道などの施設の補修・更新への支援
田4,400円、畑2,000円、草地400円(10a当り)
令和元年度実績値 取組組織数 5組織、取組面積 763.73ha
- 事業区域 安曇、奈川、梓川、波田
- 負担割合 国50%、県25%、市25%

< 現状に対する認識 >

- 活動組織にあっては、高度な事務処理能力が求められており、事務処理者の確保に苦慮している組織もあり、事務処理の簡略化等の意見を国等へ伝えていくことに努める。
- 事務処理者の確保対策として、集落単位の組織から、広域組織又は組織統合への移行の検討を要している。
- 期(5年間)を完了した1組織については、事務処理の難航を理由として、前年度をもって取組みを終了とした。

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	松本版総合戦略

< 指標の達成状況 >

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	取組目標面積(農地維持支払面積を基準:ha)				
指標の設定理由	令和2年度における取組面積を農振農用地面積の60%と設定しているため。				
目標値	943	1,174	1,205	1,236	1,267
実績値	943	943	944	939	
達成度	100.0%	80.3%	78.3%	76.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	44,672		52,091		49,120		51,049		54,140	
国・県	33,466		41,443		36,868		38,314		40,630	
利用者負担金										
その他										
一般財源	11,206		10,648		12,252		12,735		13,510	
人件費(千円)	9,115	人工	9,035	人工	9,115	人工	9,090	人工		人工
正規	7,690	1.0	7,590	1.0	7,690	1.0	7,600	1.0		
嘱託	1,425	0.5	1,445	0.5	1,425	0.5	1,490	0.5		
合計コスト +	53,787		61,126		58,235		60,139		54,140	
前年度比	-		113.6%		95.3%		103.3%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	県単土地改良事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	県単土地改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

R元 ~ R元

風水害等により土砂崩かいの危険の生じた箇所において、農業用施設の災害を防止するために、幹線水路の法面復旧の整備を行うもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 県単農業農村基盤整備事業(和田堰地区)	
事業主体	長野県梓川土地改良区
総事業費	3,500千円
事業期間	令和元年度
事業内容	法面復旧工 L=23m
補助率	県 40%、市 30%、(地元 30%)

< 現状に対する認識 >

県単土地改良事業による法面復旧により、幹線水路の防災対策及び継続的な用水の安定供給が確保されたことにより、農業経営の安定が図られた。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	緊急的な農業用施設の改修等への対応を行ったものであり、目標設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	0	0	0	1,050	0
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源				1,050	
人件費(千円)	0	人工	0	人工	760
正規	0	0	0	0	760
嘱託	0	0	0	0	0.1
合計コスト +	0	0	0	1,810	0
前年度比	-	-	-	-	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独耕地事業
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5つの重点目標
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	単独耕地事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

安曇・奈川・梓川・波田4地区の農道・排水路等老朽化した農業用施設の施設改修を行い農業の経営安定を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 土地改良施設管理事業
豪雨時の農業用用水路の排水路への排水管理を土地改良区へ委託するもの
委託先 波田堰土地改良区(北原排水施設)
- 市単工事業
老朽化した農道・排水路等の施設の改修を行うもの
農道整備 8ヶ所
排水路整備 12カ所
その他(浚渫等) 1カ所
- 市単原材料
農道等の軽微な補修に係る原材料費
- 農業用用水路・排水路の維持管理に係る経費を負担するもの
黒川堰土地改良区負担金
長尾堰維持管理負担金
安曇野・松本行政事務組合負担金
- 排水路敷用地取得に係る経費
用地測量委託費
用地・補償費
- 土地改良区等団体が行う農業用施設の整備に対し補助するもの
整備箇所 7カ所
補助率 事業費の60%

< 現状に対する認識 >

農業用施設の維持管理等を通じて農業経営の安定に努める。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	老朽化した農業用施設の改修、農業用施設の管理を委託するもので目標設定は困難				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	25,538		26,083		45,230		25,841		35,950	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	25,538		26,083		45,230		25,841		35,950	
人件費(千円)	4,415	人工	4,373	人工	5,184	人工	5,156	人工		人工
正規	3,845	0.5	3,795	0.5	4,614	0.6	4,560	0.6		
嘱託	570	0.2	578	0.2	570	0.2	596	0.2		
合計コスト +	29,953		30,456		50,414		30,997		35,950	
前年度比	-		101.7%		165.5%		61.5%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林漁業資金償還事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農林漁業資金償還事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~ R5

土地改良事業の実施により、農業生産基盤の整備を行い、農業の有する多面的機能の発揮を図るとともに、安定した営農基盤の確立を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

土地改良事業の実施にあたり、財源の一部として借り入れた農林業資金の償還分に対する補助金交付事業。

- 1 県営ほ場整備事業償還金補助(三郷南部地区)
償還期間: 令和5年度まで
補助金額 33千円
- 2 波田土地改良事業償還金補助
償還期間: 令和元年度まで
補助金額 4,090千円
- 3 安曇野広域排水事業償還金補助
償還期間: 令和2年度まで
補助金額 18,795千円

< 現状に対する認識 >

以前に実施した土地改良事業の償還金に対する補助であり、償還が終了するまで補助する必要がある。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	償還計画表による償還金補助負担額(千円)				
指標の設定理由	各事業ごとの償還計画に基づく補助金額を設定				
目標値	26,210	25,720	24,660	22,930	18,830
実績値	26,200	25,702	24,660	22,918	
達成度	100.0%	99.9%	100.0%	99.9%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	26,200		25,702		24,660		22,918		18,840	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	26,200		25,702		24,660		22,918		18,840	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1	760	0.1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	26,969		26,461		25,429		23,678		18,840	
前年度比	-		98.1%		96.1%		93.1%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	県営土地改良事業
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取り組み
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
				松本版総合戦略

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	県営土地改良事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

H24～R5

豪雨時の溢水被害防止対策や県営事業で整備した畑地帯のかんがい配水施設が老朽化し、漏水や破管により営農に支障をきたしているため、県営土地改良事業により施設の再整備等を行い、農業用水の安定供給と維持管理経費の軽減、安定した営農基盤の確立を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 県営 かんがい排水事業(梓川右岸地区:波田)

総事業費 3,105,000千円(負担割合:国50%、県25%、市25%)

事業年度 平成24年度～令和5年度

事業内容 排水路整備 3,152m

令和元年度未進捗率 25.0%(事業費基準) C=40,000千円 負担金10,000千円
- 県営 畑地帯総合整備事業(中下原平林地区:波田)

総事業費 1,660,000千円

(負担割合:国50%、県27.5%、市11.25%、地元11.25%)

事業年度 平成27年度～令和4年度

事業内容 畑地かんがい施設受益地面積 130ha
排水路整備3,880m、農道整備1,160m、農地改良5ha

令和元年度未進捗率 64.9%(事業費基準) C=260,000千円 負担金27,948千円
- 県営 基幹水利施設ストックマネジメント事業(新村堰地区:波田)

総事業費 180,000千円(負担割合:国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%)

事業年度 令和元年度～令和4年度

事業内容 用水路補修等 1,120m

令和元年度未進捗率 5.6%(事業費基準) C=10,000千円 負担金1,250千円

< 現状に対する認識 >

・県営かんがい排水事業については、大型工事(大事業費)となるシールド工法区間への着手に時間を要し、目標に対して遅れが生じているが、令和2年度に着手が決定。ただし、シールドマシン製作等のため、排水路工の工事進捗計画は無しの予定。

・県営畑地帯総合整備事業については、目標値を下回ってはいるが、令和2年度にて目標の達成が予定されている。

・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業については、事業初年度は計画事業費が確保され、順調に遂行中。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	県営かんがい排水事業 排水路工事延長(m)				
指標の設定理由	工事延長により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	887	1,401	1,704	1,704	2,171
実績値	1,095	1,250	1,344	1,422	
達成度	123.4%	89.2%	78.9%	83.5%	-
成果指標(指標名)	県営畑地帯総合整備事業 畑地かんがい施設更新工事面積(ha)				
指標の設定理由	工事面積により事業の進捗状況が把握できるため				
目標値	0	25	66	102	130
実績値	0	21.5	52.4	83.8	
達成度	#DIV/0!	86.0%	79.4%	82.2%	-

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	52,852	48,855	59,590	44,147	121,460
国・県					
利用者負担金					
その他	28,300	25,600		3,600	31,500
一般財源	24,552	23,255	59,590	40,547	89,960
人件費(千円)	4,614	4,554	5,383	5,320	
正規	4,614	4,554	5,383	5,320	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	57,466	53,409	64,973	49,467	121,460
前年度比	-	92.9%	121.7%	76.1%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	安曇地区農業集落排水処理施設維持管理
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		生物の多様性を考慮した自然環境の保全
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

<予算上の位置付け>

会計名	地域排水施設
予算中事業名	安曇地区農業集落排水処理施設維持管理

<事業の狙い>

事業計画年度

H8~

農業用水の水質保全及び生活環境の整備並びに農業集落排水処理施設の機能維持等の適正化を図る。
また、腐食菌等により浸食された施設改修により、延命化を行い経費の削減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水処理施設維持管理業務(稲核・島々・大野田地区) 農業集落排水処理施設計画概要書作成(島々) 農業集落排水処理施設機能強化実施設計書作成(島々)
2 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 放流水の水質確保及び、施設の劣化防止 施設の改修による延命化及び経費の削減
3 活動実績	維持管理(稲核・島々・大野田地区) 処理施設 巡回管理 1回/週(年52回) 水質検査 1回/月(年12回) マンホールポンプ施設(稲核3基・島々2基) 巡回管理 1回/月(年12回) 清掃点検 1回/年

<現状に対する認識>

島々(H8)、大野田(H10)、稲核(H12)と設置以来20年以上が経過し、施設の劣化が進んでいる。また、ポンプ類や計装類は日常の点検や修理等により正常に機能しているが、更新時期を迎えた機器が多く、汚水の流入中止は出来ないため、定期点検と機器の更新は必須です。
このため、令和2年度の島々地区汚水処理場を皮切りに、防食工事を順次実施していきます。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	放流水が水質基準に適合している割合				
指標の設定理由	放流水質が適正であれば施設の維持管理が適正に行われていると判断できるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%	100%	
達成度	100%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	施設改修の推進(事業費ベース進捗率)				
指標の設定理由	多種目にわたる工種があるため事業量で進捗を示すことが困難				
目標値	2%	5%	8%	12%	40%
実績値	2%	5%	8%	12%	
達成度	100%	100%	100.0%	100.0%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	23,540	22,472	24,740	17,879	19,870
国・県	4,000	2,500	2,500		
利用者負担金					
その他					
一般財源	19,540	19,972	22,240	17,879	19,870
人件費(千円)	2,877	2,855	2,877	2,876	
正規	2,307	2,277	2,307	2,280	
嘱託	570	578	570	596	
合計コスト +	26,417	25,327	27,617	20,755	19,870
前年度比	-	95.9%	109.0%	75.2%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	小規模集合排水施設維持管理
-------	---------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		生物の多様性を考慮した自然環境の保全
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		成熟型社会の都市基盤づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	地域排水施設
予算中事業名	小規模集合排水施設維持管理

< 事業の狙い >

事業計画年度

H8~

農業用水の水質保全及び生活環境の整備並びに農業集落排水処理施設の機能維持等の適正化を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

1 事業の実施内容	野沢小規模集合排水処理施設の維持管理業務
2 事業の目的	放流水の水質確保及び施設の劣化防止
3 活動実績	処理施設 巡回管理 1回/月(年12回) 水質検査 1回/年 マンホールポンプ施設 巡回管理 1回/月(年12回) 清掃点検 1回/年

< 現状に対する認識 >

平成12年4月に供用開始となった施設であるが、機器及び処理水の水質と共に良好に管理されている。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	放流水が水質基準に適合している割合				
指標の設定理由	放流水質が適正であれば施設の維持管理が適正に行われていると判断できるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%	100%	
達成度	100%	100%	100.0%	100.0%	0.0%
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	740	472	750	429	550
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	740	472	750	429	550
人件費(千円)	1,054	1,048	1,054	1,058	0
人工					人工
正規	769	759	769	760	0
嘱託	285	289	285	298	0
合計コスト +	1,794	1,520	1,804	1,487	550
前年度比	-	84.7%	118.7%	82.4%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	安曇地区農業集落排水処理施設建設改良
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	地域排水施設
予算中事業名	安曇地区農業集落排水処理施設建設改良

<事業の狙い>

事業計画年度

H8~

農業用水の水質保全及び生活環境の整備並びに農業集落排水処理施設の機能維持等の適正化を図る。
また、腐食菌等により浸食された施設改修により、延命による経費の削減を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 農業集落排水処理施設維持管理業務(稲核・島々・大野田地区) 農業集落排水処理施設計画概要書作成(島々) 農業集落排水処理施設機能強化実施設計書作成(島々)
2 事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 放流水の水質確保及び、施設の劣化防止 施設の改修による延命化及び経費の削減
3 活動実績	維持管理(稲核・島々・大野田地区) 処理施設 巡回管理 1回/週(年52回) 水質検査 1回/月(年12回) マンホールポンプ施設(稲核3基・島々2基) 巡回管理 1回/月(年12回) 清掃点検 1回/年

<現状に対する認識>

島々(H8)、大野田(H10)、稲核(H12)と設置以来20年以上が経過し、施設の劣化が進んでいる。また、ポンプ類や計装類は日常の点検や修理等により正常に機能しているが、更新時期を迎えた機器が多く、汚水の流入中止は出来ないため、定期点検と機器の更新は必須です。
このため、令和2年度の島々地区汚水処理場を皮切りに、防食工事を順次実施していきます。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	放流水が水質基準に適合している割合				
指標の設定理由	放流水質が適正であれば施設の維持管理が適正に行われていると判断できるため				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%	100%	
達成度	100%	100.0%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)	施設改修の推進(事業費ベース進捗率)				
指標の設定理由	多種目にわたる工種があるため事業量で進捗を示すことが困難				
目標値			2%	3%	21%
実績値			2%	3%	
達成度	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%	-

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)			5,000	5,534	50,420
国・県			2,500	1,500	24,000
利用者負担金					
その他					
一般財源			2,500	4,034	26,420
人件費(千円)	0	人工 0	人工 1,054	人工 1,058	人工
正規	0	0	769	0.1	760
嘱託	0	0	285	0.1	298
合計コスト +	0	0	6,054	6,592	50,420
前年度比	-	-	-	108.9%	-

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	市債償還元金
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	地域排水施設
予算中事業名	市債償還元金

< 事業の狙い >

事業計画年度

H8~

農業集落排水事業の実施にあたり、排水処理施設及び管渠整備の財源の一部として借り入れた起債の償還元金。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

農業集落排水事業の実施にあたり、排水処理施設及び管渠整備の財源の一部として借り入れた起債の償還元金。

1 施設概要

- (1) 汚水排水処理場 3箇所(島々、大野田及び稲核)
- (2) 小規模排水処理施設(野沢)

2 整備期間

平成8年度 ~ 平成12年度

< 現状に対する認識 >

適正に実施している。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	起債償還表に基づき実施				
指標の設定理由	起債償還表に基づき、予算化して償還している。				
目標値	28,400	27,800	26,770	24,870	25,540
実績値	28,400	27,800	26,770	24,866	25,540
達成度	100%	100%	100.0%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	28,400		27,800		26,770		24,866		25,540	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	28,400		27,800		26,770		24,866		25,540	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1	760	0.1		
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	29,169		28,559		27,539		25,626		26,309	
前年度比	-		97.9%		96.4%		93.1%		-	

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	市債償還利子
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり
			松本版総合戦略		子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

< 予算上の位置付け >

会計名	地域排水施設
予算中事業名	市債償還利子

< 事業の狙い >

事業計画年度

H8~

農業集落排水事業の実施にあたり、排水処理施設及び管渠整備の財源の一部として借り入れた起債の償還利子。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

農業集落排水事業の実施にあたり、排水処理施設及び管渠整備の財源の一部として借り入れた起債の償還利子。

1 施設概要

- (1) 汚水排水処理場 3箇所(島々、大野田及び稲核)
- (2) 小規模排水処理施設(野沢)

2 整備期間

平成8年度 ~ 平成12年度

< 現状に対する認識 >

適正に実施している。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	起債償還表に基づき実施				
指標の設定理由	起債償還表に基づき、予算化して償還している。				
目標値	7,610	7,040	6,310	5,130	4,460
実績値	7,610	7,040	6,310	5,121	
達成度	100%	100%	100.0%	99.8%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	7,610		7,040		6,310		5,121		4,660	
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,610		7,040		6,310		5,121		4,660	
人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工	760	人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1	760	0.1		0.1
嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計コスト +	8,379		7,799		7,079		5,881		5,429	
前年度比	-		93.1%		90.8%		83.1%		-	

農業委員会事務局

事務局長 山田 賢司

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	1610000
-----	----	----------	-----	---------

事務事業名	農業委員活動
-------	--------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農業委員活動費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

優良農地の確保と遊休農地・農地の解消及び地域農業の振興を図るもの

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 委員数
農業委員 26名(任期H30.8.9~R3.8.8)
農地利用最適化推進委員 18名(任期H30.8.17~R3.8.8)
- 総会等の開催
定例総会 12回(毎月開催)
専門委員会
ア 農業振興委員会 5回
イ 情報・研修委員会 6回
- 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見提出
令和元年10月2日(水)
意見書に関する市長との懇談会
令和元年11月14日(木)
- 農地法その他の法令によりその権限に属させられた農地等の利用関係の調整に関する事項等
農地の権利移動や転用等の許可・意見・現地確認等
- 農地等の利用の最適化の推進に関すること
担い手への農地集積・集約化、遊休農地発生防止・解消、新規就農・新規参入の促進等に関する話し合いへの参加・相談対応
- 農業一般に関する調査及び情報提供等

< 現状に対する認識 >

農業委員会が、その主たる使命である農地利用の最適化(担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)を進めるため、農業委員と農地利用最適化推進委員が緊密に連携し、現場活動に取り組む。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	3,618	3,353	3,096	2,807	3,500
国・県	50	50	50	50	
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,568	3,303	3,046	2,749	
人件費(千円)	41,526	40,986	40,770	41,040	
正規	41,526	40,986	40,770	41,040	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	45,144	44,339	43,866	43,847	3,500
前年度比	-	98.2%	98.9%	100.0%	-

事務事業評価票

事務事業名	農業者年金事務
-------	---------

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農業者年金事務費

< 事業の狙い >

事業計画年度	~
--------	---

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 独立行政法人農業者年金基金から委託を受けた業務を行う。
JAから送付を受けた農業者年金事業諸届等の受付・点検、記載内容の事実確認及び基金への送付
加入対象者への制度の周知・普及
加入対象者の把握、加入推進名簿の作成及び基金への送付並びにその管理
- 農業者年金制度の拡大強化を図るため、農業者年金協議会を設置し、事務を行う。
役員会 令和元年5月 8日(水)
総代会 令和元年6月19日(水)
- 農業者年金「加入者累計13万人早期達成3カ年運動」(H30~R2)の2年目として、本市の目標である平成30年度から令和2年度の3カ年で新規加入26人を目指して取り組む。
H30年度新規加入者 13人
R1年度新規加入者 7人

< 現状に対する認識 >

公的年金だけでは、老後の生活が賅えないと見込まれており、農業者が安定した老後を過ごすために、農業者年金制度の中身をよく知っていただき、加入推進を図ることが必要

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

< 第10次基本計画の位置付け >			< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
			松本版総合戦略		

< 指標の達成状況 >

	総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	農業者年金新規加入者				
指標の設定理由	新規加入者数が事業の成果を示すため。				
目標値	11	11	9	7	6
実績値	15	10	13	7	
達成度	136.4%	90.9%	144.4%	100.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(千円)	692	613	623	556	470
国・県					
利用者負担金					
その他	251	175	141	84	
一般財源	441	438	482	472	
人件費(千円)	2,307	2,277	2,265	2,280	
正規	2,307	2,277	2,265	2,280	
嘱託	0	0	0	0	
合計コスト +	2,999	2,890	2,888	2,836	470
前年度比	-	96.4%	99.9%	98.2%	-

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農業委員会事務局
-------	----------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農業委員会事務局費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農業委員会の適正な運営と、農業情報の提供
議事録を作成し、審議過程を公表することで、委員会の透明性を図る。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- 「農業委員会だより」配付
時期 7月、12月
対象 農協の組合員と准組合員
- 議事録作成
農業委員会定例総会の議事録を作成し、ホームページで公表
- 各種加盟協議会等への参加及び負担金を支出し、研修活動を支援

< 現状に対する認識 >

農業委員会等に関する法律に基づいた適正な委員会運営を行っている。
活動内容を広く市民へ周知することで、農業振興を図っていく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	4,288		4,268		4,191		4,108		4,180	
国・県	274		210		266		163			
利用者負担金										
その他	285		271		250		103			
一般財源	3,729		3,787		3,675		3,842			
人件費(千円)	9,997	人工	9,867	人工	9,815	人工	9,880	人工		人工
正規	9,997	1.3	9,867	1.3	9,815	1.3	9,880	1.3		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	14,285		14,135		14,006		13,988		4,180	
前年度比	-		98.9%		99.1%		99.9%		-	

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農地銀行活動促進事業
-------	------------

< 第10次基本計画の位置付け >

< 市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け >

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	
			松本版総合戦略	

< 予算上の位置付け >

会計名	一般会計
予算中事業名	農地銀行活動促進事業費

< 事業の狙い >

事業計画年度

~

農家の経営規模拡大や農地の有効利用を図るもの。
農業委員会が法令業務を行うための基礎資料として活用するため、農地台帳の整備を行い、業務の効率化を図るもの。

< 事業の実施内容及び活動指標(実績値) >

- (一社)松本農業開発センターを中心とした農地銀行をととして、規定に基づき、農地利用集積を行い、農地の貸し借りの調整や管理をする。
- 農地パトロール(利用状況調査)を行い、調査結果を基に遊休農地と判断された農地の所有者に対し、利用意向調査を行う。さらに、再生利用困難と判断された農地について、非農地判断を行う。
R1年度 非農地判断実施面積 30ha
- 現地調査を行い、農地台帳システム及び全庁利用型・汎用GISシステムへ調査結果を反映し、農家の営農状況、農地の利用状況の管理を行う。

< 現状に対する認識 >

農業従事者の減少や、高齢化等による遊休農地の増加、山麓沿いの遊休農地の山林化等課題は多く、その解消に向けた対応を検討していく。

< 指標の達成状況 >

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
成果指標(指標名)	遊休農地解消面積(ha)				
指標の設定理由	遊休農地解消面積が本事業の成果を示すため。				
目標値	44	24	10	1	1
実績値	66.4	10	11.4	11.7	
達成度	150.9%	41.7%	114.0%	1170.0%	-
成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

< コスト一覧 >

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
事業費(千円)	2,966		1,660		1,681		1,722		2,580	
国・県										
利用者負担金										
その他			165		123		105			
一般財源	2,966		1,495		1,558		1,617			
人件費(千円)	6,921	人工	7,590	人工	7,550	人工	7,600	人工		人工
正規	6,921	0.9	7,590	1	7,550	1	7,600	1		
嘱託	0		0		0		0			
合計コスト +	9,887		9,250		9,231		9,322		2,580	
前年度比	-		93.6%		99.8%		101.0%		-	